



中学校 家庭科 徹底学習ノート

家族・家庭と私の成長

- 赤い文字は暗記ポイントです。付属の赤シート（赤色の下じぎ）を重ねると消えます。
- 学習 → ミニクイズ → 模擬試験（全3回）の順に取り組みましょう。

これまでとこれからの自分（発達段階とかかわり）

要点まとめ

- 人間は、生まれてから死ぬまでの間、**家族や地域など多くの人々とかかわりながら**成長・発達していく。一人で大きくなるのではない。
- 成長の道すじ（発達段階）は、**乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人**の順に進んでいく。
- 発達段階が進むにつれて、かかわる人々は**しだいに広がっていく**（家族中心から、地域や社会の多様な人々へ）。
- 乳児**の頃にかかわる主な人々は、**親・きょうだい・親せき（親族）**など、ごく身近な家族が中心である。
- 幼児**になると、**近所の人々・保育所や幼稚園・認定こども園の先生・友だち・病院の人々**など、家族の外の人々ともかかわるようになる。
- 小学生**になると、**学校の先生・友だち・地域の人々（放課後児童クラブ・学童保育など）**とのかかわりが加わる。
- 中学生から成人**にかけては、**さらに様々な年齢や立場の人々**とかかわるようになり、社会との関係が広がっていく。
- この単元の目標は、**自分が家族や地域の人々とどうかかわって成長してきたか**を理解することである。

重要用語

発達段階 はったつだんかい	人が成長していく道すじを、いくつかの 時期（段階）に分けたもの 。 乳児→幼児→小学生→中学生→高校生→成人の順に進む。
乳児 にゅうじ	発達段階のいちばん 初め の時期。主に 親・きょうだい・親せき など身近な家族とかかわる。
幼児 ようじ	乳児の次の時期。 保育所・幼稚園・認定こども園の先生や友だち など、家族の外の人ともかかわるようになる。
親族（親せき） しんぞく	親・きょうだいのほか、おじ・おば・いとこなど、 血のつながりや結婚でつながった親類 のこと。
認定こども園 にんていこどもえん	幼稚園と保育所の両方の役割 をあわせもつ、幼児が通う施設。
放課後児童クラブ（学童保育） ほうかごじどうクラブ	小学生が 放課後 に過ごす場所。保護者が仕事などで家にいない子どもを 地域で見守り育てる 仕組み。

成長・発達 せいちょう・はったつ	体が大きくなる（成長）だけでなく、 できることや心が育っていくこと （発達）。多くの人々とのかかわりの中で進む。
かかわり	人と人が 関係を持ち、ふれあうこと 。発達段階が進むほど、かかわる相手の範囲が 広がっていく 。
成人 せいじん	発達段階の中で、 大人になった段階 。それまでより さらに様々な年齢や立場の人々 とかかわる。

一問一答

- 人間は、生まれてから死ぬまでの間、どのようにして成長・発達していくか。
 答え：家族や地域など、多くの人々とかかわりながら成長・発達していく。
- 発達段階を、進む順に6つ答えなさい。
 答え：乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人
- 発達段階のいちばん初めの時期を何というか。
 答え：乳児
- 乳児の頃にかかわる主な人々を答えなさい。
 答え：親、きょうだい、親せき（親族）
- 幼児が新しくかかわるようになる人々や場所を答えなさい。
 答え：近所の人々、保育所・幼稚園・認定こども園の先生、友だち、病院の人々
- 幼稚園と保育所の両方の役割をあわせもつ、幼児が通う施設を何というか。
 答え：認定こども園
- 小学生が放課後に過ごす、地域で子どもを見守る仕組みを何というか（2つの呼び方）。
 答え：放課後児童クラブ（学童保育）
- 小学生がかかわるようになる主な人々を答えなさい。
 答え：学校の先生、友だち、地域の人々（放課後児童クラブ・学童保育など）
- 中学生から成人にかけて、かかわる人々はどう変化するか。
 答え：さらに様々な年齢や立場の人々とかかわるようになる。
- 発達段階が進むにつれて、かかわる人々の範囲はどうなっていくか。
 答え：（家族中心から地域や社会へと）しだいに広がっていく。
- この単元（1-1）の学習の目標は何か。
 答え：自分が家族や地域の人々とどうかかわって成長してきたかを理解すること。
- 「親せき」を別の言い方で漢字2字の用語にすると何か。
 答え：親族
- 人間は一人だけで大きくなれるか。理由とともに答えなさい。
 答え：なれない。家族や地域など多くの人々とかかわりながら成長・発達していくから。

4. 乳児の頃にかかわる人々と、小学生になってから新しく加わる人々を比べると、どんな違いがあるか。

答え：乳児は親など身近な家族が中心だが、小学生では学校の先生・友だち・地域の人々など、家族の外の人々が広く加わる。

ミニクイズ

1. 発達段階は、乳児 → (①) → 小学生 → 中学生 → (②) → 成人 の順に進む。①②に入る語を答えなさい。

答え：①**幼児** ②**高校生** 発達段階の順序は「乳児→幼児→小学生→中学生→高校生→成人」。乳児の次が幼児、中学生の次が高校生になる。

2. 乳児の頃にかかわる主な人々として、最もふさわしいものはどれか。

(1) 学校の先生や地域の人々 (2) 親・きょうだい・親せき (3) 会社の同僚や上司 (4) 保育所の先生や病院の人々

答え：親・きょうだい・親せき 乳児はいちばん初めの段階で、身近な家族（親・きょうだい・親せき＝親族）が中心。学校の先生は小学生、保育所の先生や病院の人々は幼児からかかわる人々。

3. 発達段階が進むほど、かかわる人々の範囲はせまくなっていく。

答え：誤り (×) 実際は逆で、発達段階が進むほどかかわる人々の範囲はしだいに広がっていく。家族中心から地域・社会の多様な人々へと広がる。

4. 幼児が新しくかかわるようになる場所・人々として、ふさわしくないものはどれか。

(1) 保育所・幼稚園・認定こども園の先生 (2) 近所の人々 (3) ハローワークの職員 (4) 病院の人々

答え：ハローワークの職員 幼児は近所の人々、保育所・幼稚園・認定こども園の先生、友だち、病院の人々などとかかわる。ハローワーク（職業紹介）は失業時に大人が使う窓口で、幼児のかかわりには含まれない。

5. 幼稚園と保育所の両方の役割をあわせもつ、幼児が通う施設を（ ）という。

答え：認定こども園 認定こども園は、幼稚園（教育）と保育所（保育）の両方の機能をもつ施設。

6. 人間は、生まれてから死ぬまでの間、家族や地域など多くの人々とかかわりながら成長・発達していく。

答え：正しい (○) 人は一人で大きくなるのではなく、多くの人々とのかかわりの中で成長・発達していく。これがこの単元の基本となる考え方。

7. 小学生がかかわるようになる人々として、最もふさわしいものはどれか。

(1) 親・きょうだいだけ (2) 学校の先生・友だち・地域の人々 (3) 会社の取引先 (4) 成人した同世代の人だけ

答え：学校の先生・友だち・地域の人々 小学生では学校の先生、友だち、地域の人々（放課後児童クラブ・学童保育など）とのかかわりが加わる。

8. 発達段階が進むにつれて、人とのかかわりがどのように変化していくか、説明しなさい。

答え：(例) 乳児の頃は親・きょうだい・親せきなど身近な家族が中心だが、幼児・小学生・中学生と進むにつれて、保育所や学校の先生・友だち・地域の人々など、家族の外の様々な年齢や立場の人々へとかかわりがしだいに広がっていく。「家族中心から地域・社会へ」「かかわる人々の範囲が広がる」という流れをおさえる。具体例（保育所・学校・地域）を入れて書けるとよい。

9. 小学生が放課後に過ごす、地域で子どもを見守る仕組みを「放課後児童クラブ」または（ ）という。

答え： **学童保育** 放課後児童クラブと学童保育は同じ仕組みを指す2つの呼び方。保護者が仕事などで家にいない時間に小学生を見守り育てる。

10. この単元（1-1）で学ぶことの目標を、1文で書きなさい。

答え： **(例) 自分が家族や地域の人々とどうかかわって成長してきたかを理解すること。** 自分のこれまでの成長を、人とのかかわりという視点で振り返るのがねらい。

考えてみよう

自分が乳児・幼児・小学校低学年だった頃を思い出し、「どんな人にお世話になったか」「だれと遊んだり学んだりしたか」を書き出してみよう。そのうえで、今の自分とくらべて、かかわる人々がどのように広がってきたかを話し合ってみよう。

これからの自分（高校生・成人）は、どのような年齢や立場の人々とかかわっていくと思うか予想してみよう。新しく出会う人々と、よい関係をつくるために自分にできることは何だろうか。

「人は一人では成長できない」と言われるのはなぜだろうか。自分の経験（できなかったことを助けてもらった、教えてもらったなど）をあげながら、家族や地域の人々とのかかわりが成長にどう役立っているか考えてみよう。

1-2 中学生の発達の特徴・自己肯定感・自己理解

要点まとめ

- 中学生は、**子どもから青年期へ移行する時期**であり、心も体も大きく変化していく大切な段階である。
- 自立**とは「何でも自分でできること」ではなく、必要なときに**ほかの人々に助けを求められること**を意味する。
- 自分の頭で考えられるようになり、身の回りの物事に**疑問**を感じるのは、**大人へ成長していく証**である。
- 成長の道筋には**個人差**があり、ゆっくり成長する人もいるので、人と比べてあせる必要はない。
- 自己肯定感**とは、ありのままの自分を好意的に受け止め、「**自分には自分らしいところがある**」と**肯定的に感じる気持ち**のことである。
- 日本の若者は、国際的に見て**自己肯定感が低い傾向**があるといわれている（参考：日本セルフエスティーム普及協会）。
- 自己理解**とは、自分の**長所・短所、好きなこと・苦手なこと、興味のあること**などを自分で知ることである。
- 自己理解を深めることは、**自分らしく生きる**ための第一歩になる。

重要用語

青年期 せいねんき	子どもから大人へと移り変わっていく時期。中学生はこの 青年期へ移行する時期 にあたり、心や体が大きく変化する。
自立 じりつ	何でも自分一人ですることではなく、 必要なときにほかの人々に助けを求められること 。人にたよる力も自立の一部だと考える。
自己肯定感 じここうていかん	ありのままの自分を好意的に受け止め、「 自分には自分らしいところがある 」と 肯定的に感じる気持ち のこと。
自己理解 じこりかい	自分の 長所・短所、好きなこと・苦手なこと、何に興味があるか などを、自分で知ること。
個人差 こじんさ	成長の 道筋やスピードが一人ひとり違うこと 。ゆっくり成長する人もいて、それも自然なことである。
成長の証 せいちょうのあかし	身の回りの物事に疑問を感じたり、自分で考えたくなったりすることは、 大人へ成長していくしるし である。
日本セルフエスティーム普及協会	自己肯定感（セルフエスティーム）に関する活動を行う団体。日本の若者は 自己肯定感が低い傾向 があるとされる参考元として教科書で紹介される。
長所・短所 ちようしょ・たんしょ	自分の 良いところと、苦手なところ 。自己理解では両方を知ることが大切とされる。
ありのままの自分	よく見せたり、かざったりせず、 そのままの自分 のこと。自己肯定感とは、これを好意的に受け止めることから生まれる。
助けを求める力	困ったときに、 人にSOSを出せる力 。自立とは反対のように見えて、実は自立に欠かせない力である。

一問一答

- 中学生は、どの時期からどの時期へ移行する時期だといえるか。
 答え： **子どもから青年期へ移行する時期**。
- 「自立」とは何でも自分一人ですることだ。正しいか。
 答え： **正しくない。自立とは、必要なときにほかの人々に助けを求められることをいう**。
- 身の回りの物事に疑問を感じるようになるのは、何の証だといえるか。
 答え： **大人へ成長していく証**。
- 成長の道筋について、一人ひとり違うことを何というか。
 答え： **個人差**。
- ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ちを何というか。
 答え： **自己肯定感**。
- 「自分には自分らしいところがある」と思えることは、何という気持ちと関係が深いか。
 答え： **自己肯定感**。

7. 日本の若者の自己肯定感は、国際的に見てどのような傾向があるといわれているか。

答え：低い傾向がある。

8. 自分の長所・短所、好きなこと・苦手なこと、興味のあることなどを自分で知ることが何というか。

答え：自己理解。

9. 自己理解を深めることは、何のための第一歩になるか。

答え：自分らしく生きるための第一歩。

10. 成長がゆっくりな人がいるのは、おかしいことか。

答え：おかしくない。成長の道筋には個人差があり、自然なことである。

1. 困ったときに人に助けを求める力は、自立とどのような関係にあるか。

答え：自立に欠かせない、自立の一部といえる力である。

2. 自己肯定感が低い傾向がある日本の若者について、参考として教科書に挙げられている団体は何か。

答え：日本セルフエスティーム普及協会。

3. 自己理解で、好きなことや苦手なことのほかに知るとよいものを一つ挙げよ。

答え：何に興味があるか（興味のあること）。

4. 自分で考えられるようになり、周りに疑問を感じることは悪いことか。

答え：悪いことではなく、大人へ成長していく証である。

図表の読み取り

1. 図表「自己肯定感の国際比較」では、『自分には自分らしいところがあると思うか』について、日本の若者の割合は他国と比べてどうか。

→ 日本は「とてもそう思う」と答える割合が他国より低い。

2. 高校生で「自分らしいところがある＝とてもそう思う」と答えた割合の概数で、日本はおおよそ何％か。

→ 約25%（教科書掲載の概数）。

3. 同じ調査の概数で、日本・米国・中国・韓国のうち、最も割合が高いのはどこか。

→ 米国（約47%）。

ミニクイズ

1. 中学生の時期の説明として最も適切なものはどれか。

（1）大人から老年期へ移行する時期 （2）子どもから青年期へ移行する時期 （3）乳児から幼児へ移行する時期 （4）幼児から小学生へ移行する時期

答え：子どもから青年期へ移行する時期 中学生は、子どもから青年期へ移行する時期にあたり、心も体も大きく変化していく。

2. 「自立」とは、何でも自分一人のできるようになることである。

答え：×（誤り） 自立とは、必要なときにほかの人々に助けを求められることをいう。何でも一人でやることではない。

3. ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ちを（ ）という。

答え：自己肯定感 「自分には自分らしいところがある」と感じられることが自己肯定感である。

4. 自分の長所・短所や好きなこと・苦手なことなどを自分で知ることを（ ）という。

答え：自己理解 自己理解を深めることが、自分らしく生きるための第一歩になる。

5. 日本の若者は、国際的に見て自己肯定感が高い傾向にあるといわれている。

答え：×（誤り） 日本の若者は国際的に見て自己肯定感が低い傾向にあるといわれている（参考：日本セルフエスティーム普及協会）。

6. 身の回りの物事に疑問を感じるようになることについて、正しい説明はどれか。

（1）わがままになった証拠で、直すべきである （2）大人へ成長していく証である （3）成長が止まったしるしである （4）友だちと同じでなければならない

答え：大人へ成長していく証である 自分の頭で考えて疑問を感じることは、大人へ成長していく証である。

7. 成長の道筋には個人差があり、ゆっくり成長する人もいる。

答え：○（正しい） 成長の道筋には個人差があるので、人と比べてあせる必要はない。

8. 自立に欠かせない力として、本文の考え方に最も合うものはどれか。

（1）人にたよらず一人でがまんする力 （2）困ったときに人に助けを求める力 （3）だれよりも速く作業する力 （4）失敗をかくす力

答え：困ったときに人に助けを求める力 自立とは、必要なときにほかの人々に助けを求められることなので、助けを求める力は自立に欠かせない。

9. 「自立」とはどういうことか、本文の考え方にそって説明しなさい。

答え：何でも自分一人ですることではなく、必要なときにほかの人々に助けを求められること。 自立は「一人で全部やること」ではなく、適切に人にたよれることも含む、という点が重要。

10. 自己理解を深めることには、どのような意味があるか説明しなさい。

答え：自分の長所・短所や好きなこと・苦手なこと、興味を知ること、自分らしく生きるための第一歩になる。 自己理解→自分らしさの発見→自分らしく生きる、という流れをおさえる。

考えてみよう

自分の「長所」と「短所」をそれぞれ3つずつ書き出してみよう。短所だと思っていたことが、見方を変えると長所になることはないか、グループで話し合ってみよう。

「自立とは、必要なときに人に助けを求められること」という考え方について、あなたは思うか。これまで「自立＝一人で何でもやること」だと思っていた点と比べて意見を出し合おう。

日本の若者は自己肯定感が低い傾向があるといわれている。なぜそうなりやすいのか、また自己肯定感を高めるために自分や周りができることは何か、話し合ってみよう。

1-3 自分らしく生きる

要点まとめ

- 世の中に自分と**同じ人は一人もいない**。人は**遺伝**も**環境**も一人ひとり違う中で育つから、まったく同じ人間は存在しない。

- ・ **遺伝**とは親から受けつぐ生まれつきの性質、**環境**とは育つ場所・人とのかかわり・経験など後から関わる条件のことで、この二つの組み合わせで一人ひとりの違いが生まれる。
- ・ 自分が周りの**どこに似ていて、どこが違うか**を知ることが、自分を理解する第一歩になる。
- ・ **自分らしさ**を大事にして、**世界に一人しかいない自分を見失わない**ように生きることが大切である。
- ・ 自分らしく生きるには、**好きなこと・興味のあること**を見つけることが手がかりになる。
- ・ 自分らしさを支える土台が**自己肯定感**（ありのままの自分を肯定的に受け止める気持ち）であり、日本の若者は国際的に見て**自己肯定感が低い傾向**がある。
- ・ 「自分には自分らしいところがあると思うか」の調査で、高校生で「とてもそう思う」と答えた割合は日本が**約25%**と、米国約47%・中国約43%・韓国約30%より**低い**（教科書掲載の概数）。
- ・ 自分らしく生きることは「わがまま」とは違い、ほかの人の自分らしさも**同じように尊重すること**とセットで成り立つ。

重要用語

自分らしさ じぶんらしさ	ほかのだれとも違う、その人ならではの 個性や持ち味 のこと。これを大事にして生きることが目標になる。
遺伝 いでん	親から子へ受けつがれる、 生まれつきの性質 や特徴のこと。一人ひとりの違いを生む要因の一つ。
環境 かんきょう	その人が育つ 場所・人とのかかわり・経験 など、生まれた後に関わる条件のこと。遺伝とともに人の違いをつくる。
自己肯定感 じここうていかん	ありのままの自分を 好意的・肯定的に受け止める 気持ち。「自分には自分らしいところがある」と思える感覚。
自己理解 じこりかい	自分の 長所・短所、好きなこと・苦手なこと、興味 などを自分で知ること。自分らしく生きる手がかりになる。
個人差 こじんさ	成長の速さや得意・不得意などが 人によって違う こと。ゆっくり成長する人もいて、それも自然なこと。
青年期 せいねんき	子どもから大人へ移っていく時期。中学生はこの 入り口 にあたり、自分とは何かを考え始める。
自己肯定感の国際比較 じここうていかんのこくさいひかく	日本・米国・中国・韓国などで「自分らしいところがあるか」を調べた図表。日本の若者は「 とてもそう思う 」割合が 他国より低い 傾向が読み取れる。
多様性（ちがいの尊重） たようせい	人はみな違うのが当たり前という考え方。自分らしさと同じく 相手の自分らしさも尊重すること を含む。

一問一答

1. 世の中に自分とまったく同じ人はいるか。

答え： **いない。一人もない。**

2. 一人ひとりが違う人間に育つ、二つの大きな要因は何か。

答え： **遺伝と環境。**

3. 親から受けつぐ、生まれつきの性質を何というか。

答え： **遺伝。**

4. 育つ場所や人とのかかわり、経験など、生まれた後に関わる条件を何というか。

答え： **環境。**

5. 自分を理解するために、自分が周りのどこに似ていて、どこが違うかを何すると良いか。

答え： **知る（似ている点・違う点を知る）。**

6. ほかのだれとも違う、その人ならではの個性や持ち味を何というか。

答え： **自分らしさ。**

7. 自分らしさを大事にして生きるとき、見失わないようにすべきものは何か。

答え： **世界に一人しかいない自分。**

8. 自分らしく生きるための手がかりになる、自分について見つけるとよいものは何か。

答え： **好きなことや興味のあること。**

9. ありのままの自分を肯定的に受け止める気持ちを何というか。

答え： **自己肯定感。**

10. 自分の長所・短所や好き・苦手などを自分で知ることを何というか。

答え： **自己理解。**

1. 自己肯定感について、日本の若者は国際的に見てどのような傾向があるか。

答え： **低い傾向がある。**

2. 「自分には自分らしいところがあると思うか」の調査で、「とてもそう思う」と答えた高校生の割合は、日本ではおよそ何%か。

答え： **約25%。**

3. 同じ調査で、日本(約25%)と比べて割合が最も高かったのは、米国・中国・韓国のうちのどの国か。

答え： **米国（約47%）。**

4. 成長の速さなどが人によって違うことを何というか。また、ゆっくり成長する人がいてもよい。

答え： **個人差。よい（自然なこと）。**

5. 中学生は、子どもから何へ移っていく時期の入り口にあたるか。

答え： **青年期（大人）。**

6. 自分らしく生きることは、ほかの人に対してどうすることとセットで成り立つか。

答え： **ほかの人の自分らしさも同じように尊重すること。**

図表の読み取り

1. 図表「自己肯定感の国際比較」は、何という質問への回答を比べているか。

→ **「自分には自分らしいところがあると思うか」という質問への回答。**

2. 「とてもそう思う」と答えた高校生の割合が最も低かったのは、日本・米国・中国・韓国のうちのどの国か。
→ **日本（約25%）。**
3. 同じ調査で、「とてもそう思う」割合が最も高かった国とおよその数値を答えなさい。
→ **米国で、約47%。**
4. この図表全体から読み取れる、日本の若者の傾向を一言で答えなさい。
→ **他国に比べて自己肯定感が低い（自分らしさを肯定的にとらえる割合が低い）傾向。**
5. 日本の経年変化（2007年→2021年）も示されているが、この比較からどんなことを考えられるか。
→ **時代によって自己肯定感の割合が変化していること、つまり自己肯定感は固定ではなく環境や社会の影響で変わりうること。**

ミニクイズ

1. 世の中には、自分とまったく同じ人がどこかに必ず一人はいる。
答え：**×（誤り）** 遺伝も環境も一人ひとり違うため、自分とまったく同じ人は一人もいない。だからこそ自分らしさが大切になる。
2. 一人ひとりが違う人間に育つ、二つの大きな要因の組み合わせとして正しいものはどれか。
（1）遺伝と環境 （2）年齢と性別 （3）学力と体力 （4）収入と地域
答え：**遺伝と環境** 親から受けつぐ「遺伝」と、育つ場所や経験などの「環境」が組み合わさって、一人ひとりの違いが生まれる。
3. ほかのだれとも違う、その人ならではの個性や持ち味を（ ）という。
答え：**自分らしさ** 自分らしさを大事にして、世界に一人しかいない自分を見失わないように生きることが、この節の目標である。
4. 「ありのままの自分を肯定的に受け止める気持ち」を表す言葉はどれか。
（1）自己肯定感 （2）性別役割分業 （3）家事の外部化 （4）申請主義
答え：**自己肯定感** 自己肯定感は自分らしさを支える土台。日本の若者は国際的に見て低い傾向があるとされる。
5. 「自分には自分らしいところがあると思うか」の調査で、「とてもそう思う」と答えた高校生の割合は、日本でおおよそ（ ）%である（教科書の概数）。
答え：**約25** 日本約25%に対し米国約47%・中国約43%・韓国約30%で、日本は他国より低い傾向が読み取れる。
6. 成長の速さには個人差があり、ゆっくり成長する人がいてもよい。
答え：**○（正しい）** 成長の道筋には個人差があるのが自然なこと。他人と比べて焦る必要はない。
7. 自分らしく生きるための「手がかり」として、見つけるとよいものはどれか。
（1）好きなこと・興味のあること （2）他人の欠点 （3）流行の持ち物 （4）テストの点数だけ
答え：**好きなこと・興味のあること** 自分の好き・興味を知る（自己理解）ことが、自分らしく生きる出発点になる。
8. 自分らしく生きるとは、自分の思い通りに振る舞うことであり、相手の自分らしさは考えなくてよい。
答え：**×（誤り）** 自分らしさを大事にすることは、ほかの人の自分らしさも同じように尊重することとセットで成り立つ。わがままとは違う。

9. 「世の中に自分と同じ人は一人もいない」と言えるのはなぜか。「遺伝」「環境」の語を使って説明しなさい。

答え：人は親から受けつぐ遺伝も、育つ場所や経験などの環境も一人ひとり違う中で育つため、まったく同じ人間は存在しないから。遺伝＋環境の組み合わせがそれぞれ異なる点をおさえる。だからこそ自分らしさを大切にする、という流れにつながる。

10. 自己肯定感について、日本の若者の傾向を、調査の数値を一つあげて説明しなさい。

答え：日本の若者は国際的に見て自己肯定感が低い傾向があり、例えば「自分には自分らしいところがあると思う」と「とてもそう思う」答えた高校生の割合は日本約25%で、米国約47%・中国約43%・韓国約30%より低い。「低い傾向」＋具体的な概数（日本約25%）をセットで述べられると満点。数値は教科書の概数として『約』を付ける。

考えてみよう

あなたが「自分らしいな」と感じるのはどんなときか。好きなこと・得意なこと・大事にしている考え方を一つずつ書き出し、グループで共有してみよう。

日本の若者は自己肯定感が他国より低い傾向があるとされる。なぜそうなるのか、また、自分や友だちの自己肯定感を高めるために学校やまわりの人ができることは何か、話し合ってみよう。

友だちと自分の「似ているところ」と「違うところ」を一つずつあげてみよう。違いがあることは、グループにとってどんな良い面につながるか考えてみよう。

2-1 家庭の機能（はたらき）と家庭の仕事

要点まとめ

- 家庭には、家族の生活を支える大切な**機能（はたらき）**がある。学習の目標は、家族・家庭の機能と、それを支える**仕事や社会の仕組み**を理解することである。
- 家庭の機能（はたらき）は大きく5つに整理できる。①**食べる** ②**着る** ③**住まう** ④**育てる（子育て・介護）** ⑤**地域・社会とのかかわり**。
- 家庭は物の世話をするだけの場ではなく、家族の**心の安らぎや健康**を支える場でもある。
- それぞれの機能には、それを実現するための「家庭の仕事」がある。たとえば「食べる」には**調理・買い物・献立を考える・後片付け**が、「着る」には**洗濯・衣服の管理・購入・補修**が含まれる。
- 「住まう」の仕事には**掃除・住まいの手入れ・リフォーム**などがあり、「育てる・介護する」の仕事には**育児・看護・介護**がある。
- 「地域・社会とのかかわり」を支える仕事には、**ベビーシッター・デイサービス・保育所・学童保育・子育て支援**などがある。
- 家庭の仕事は家族の生活を支えると同時に、**地域や社会の仕事ともつながっている**。家庭だけで完結するのではなく、社会の仕組みと結びついている点が大切である。

重要用語

家庭の機能（はたらき） かていのきのう（はたらき）	家族の生活を支える、家庭が果たしている役割 のこと。食べる・着る・住まう・育てる・地域や社会とのかかわり、心の安らぎや健康を支えることなどがある。
家庭の仕事 かていのしごと	家庭の機能を実現するために行う具体的な作業。 調理・洗濯・掃除・育児・介護 など、家族の生活を支えるはたらきである。
食べる（機能） たべる	食生活を支える機能。仕事の例は 食事の調理・買い物・献立を考えると・後片付け 。
着る（機能） きる	衣生活を支える機能。仕事の例は 洗濯・衣服の管理・購入・補修 。
住まう（機能） すまう	住生活を支える機能。仕事の例は 掃除・住まいの手入れ・リフォーム など。
育てる・介護する（機能） そだてる・かいごする	子どもを育てたり、高齢者などの世話をしたりする機能。仕事の例は 育児・看護・介護 。
地域・社会とのかかわり（機能） ちいき・しゃかいとのかかわり	家庭が地域や社会とつながる機能。これを支える仕事に ベビーシッター・デイサービス・保育所・学童保育・子育て支援 などがある。
心の安らぎ こころのやすらぎ	家庭がもつ、目に見えにくい はたらき 。家庭は家族の 心の安らぎや健康 を支える場でもある。
献立 こんだて	どんな料理を、どのように組み合わせて食べるかの計画。「 食べる 」を支える 家庭の仕事 の一つ。
補修 ほしゅう	破れたりほつれたりした衣服を直すこと。「 着る 」を支える 家庭の仕事 に含まれる。
学童保育 がくどうほいく	放課後などに小学生を預かり世話をする仕組み。「 地域・社会とのかかわり 」を支える 仕事 の例。放課後児童クラブとも呼ばれる。
デイサービス でいさーびす	高齢者などが日帰りで通い、食事や入浴などの世話を受ける福祉サービス。「 育てる・介護する 」「 地域・社会 」を支える 仕事 とつながる。

一問一答

1. この節の学習の目標は何か。

答え：家族・家庭の機能と、それを支える仕事や社会の仕組みを理解すること。

2. 家庭の機能（はたらき）を大きく5つに整理すると何か。

答え：①食べる ②着る ③住まう ④育てる（子育て・介護） ⑤地域・社会とのかかわり。

3. 家庭は物の世話をするほかに、家族の何を支える場でもあるか。

答え：心の安らぎや健康。

4. 「食べる」を支える家庭の仕事を挙げよ。

答え：食事の調理、買い物、献立を考えると、後片付けなど。

5. 「着る」を支える家庭の仕事を挙げよ。

答え：洗濯、衣服の管理・購入、補修など。

6. 「住まう」を支える家庭の仕事を挙げよ。

答え：掃除、住まいの手入れ・リフォーム、ハウスクリーニングなど。

7. 「育てる・介護する」を支える家庭の仕事を挙げよ。

答え：育児、看護、介護。

8. 「地域・社会とのかかわり」を支える仕事の例を挙げよ。

答え：ベビーシッター、デイサービス、保育所、学童保育、子育て支援など。

9. 破れた衣服を直すなど、衣服を直す家庭の仕事を何というか。

答え：補修。

0. どんな料理をどう組み合わせて食べるかを考える、食事に関する仕事を何というか。

答え：献立を考えると（献立づくり）。

1. 放課後などに小学生を預かって世話をする仕組みを何というか。

答え：学童保育（放課後児童クラブ）。

2. 高齢者などが日帰りで通い、食事や入浴などの世話を受ける福祉サービスを何というか。

答え：デイサービス。

3. 家庭の仕事は家族の生活を支えるだけでなく、何とつながっているか。

答え：地域や社会の仕事とつながっている。

4. ベビーシッターや保育所は、家庭の5つの機能のうちどれを支える仕事か。

答え：地域・社会とのかかわり（および育てる・介護する）の機能。

ミニクイズ

1. 家庭の機能（はたらき）として、教科書で挙げられている5つに当てはまらないものはどれか。

（1）食べる （2）着る （3）住まう （4）お金をもうける（営利）

答え：お金をもうける（営利） 家庭の機能は①食べる②着る③住まう④育てる（子育て・介護）⑤地域・社会とのかかわり。お金をもうけること（営利）は家庭の機能としては挙げられていない。

2. 「洗濯・衣服の管理・購入・補修」は、家庭のどの機能を支える仕事か。

（1）食べる （2）着る （3）住まう （4）育てる

答え：着る 洗濯・衣服の管理・購入・補修は「着る」を支える家庭の仕事である。

3. 次のうち「育てる・介護する」を支える家庭の仕事として最も適切なものはどれか。

（1）献立を考える （2）掃除 （3）看護・介護 （4）リフォーム

答え：看護・介護 育児・看護・介護が「育てる・介護する」の仕事。献立は「食べる」、掃除・リフォームは「住まう」を支える仕事。

4. 家庭は物の世話をするだけの場であり、心の安らぎを支えるはたらきはない。

答え：×（誤り） 家庭は心の安らぎや健康を支える場でもある。物の世話だけではない。

5. 家庭の仕事は家庭の中だけで完結し、地域や社会の仕事とはつながっていない。

答え：×（誤り） 家庭の仕事は家族の生活を支えると同時に、地域や社会の仕事ともつながっている。

6. 家庭の機能のうち、子育てや介護を行うはたらきを「（ ）・介護する」という。

答え：育てる 「育てる・介護する」の機能。仕事の例は育児・看護・介護。

7. 「食べる」を支える家庭の仕事には、調理・買い物・後片付けのほかに、どんな料理を組み合わせるか考える「（ ）を考える」がある。

答え：献立 献立を考えることは「食べる」を支える家庭の仕事の一つ。

8. 放課後などに小学生を預かって世話をする、地域・社会とのかかわりを支える仕組みを「（ ）保育」という。

答え：学童 学童保育（放課後児童クラブ）は地域・社会とのかかわりを支える仕事の例。

9. 家庭の機能（はたらき）を5つすべて答えなさい。

答え：①食べる ②着る ③住まう ④育てる（子育て・介護） ⑤地域・社会とのかかわり。 この5つに加え、家庭は心の安らぎや健康を支える場でもある点も覚えておくとよい。

10. 「家庭の仕事は地域や社会の仕事とつながっている」とはどういうことか、例を一つあげて説明しなさい。

答え：例：家庭で行う育児や介護は、保育所・デイサービス・ベビーシッターなど地域や社会のサービスに支えられている。このように家庭の仕事は家庭の中だけで完結せず、社会の仕組みと結びついている。 保育所・学童保育・デイサービス・子育て支援などが、家庭の機能を社会の側から支える例として挙げられる。

考えてみよう

家庭の5つの機能（食べる・着る・住まう・育てる・地域や社会とのかかわり）について、自分の家庭ではそれぞれどんな仕事が行われているか書き出し、誰がその仕事を担っているか話し合ってみよう。

「家庭は心の安らぎや健康を支える場でもある」とあるが、目に見えにくいこのはたらきには具体的にどんなものがあるか、自分の経験から例を挙げて考えてみよう。

保育所・学童保育・デイサービスなど、家庭の仕事を地域や社会が支えている例をほかにも探し、それがあつて家族の生活がどう助けられているか話し合ってみよう。

2-2 進む家事の外部化・社会化

要点まとめ

- これまで家庭の中で行ってきた仕事を、家庭の外（製造業・サービス産業・公的福祉）が担うようになることを**家事の外部化・社会化**という。
- 加工技術の進歩によって、調理済み食品・惣菜・冷凍食品・ハンバーグなどの**中食（なかしょく）**が手ごろな価格で手に入るようになり、**調理の時短**につながっている。
- 保育・介護などの**公的福祉**や、外食店・**クリーニング業**などの**サービス産業**が、家庭の仕事の一部を引き受けている。

- ・ ロボット掃除機に代表される**AI化**も進み、家事を機械が担う場面が増えている。
- ・ 家事の外部化・社会化が進むと生活は**便利**になる一方で、**手作りの良さや家族の時間**など失われるものもある。
- ・ 家事を外部化するときは、便利さと失われるものの**両方を考えて選ぶ**ことが大切である。
- ・ 中食やサービスを使うことには、良い点と気になる点の**両面**があり、自分の家庭に合った使い方を判断する力が求められる。

重要用語

家事の外部化・社会化 かじのがいぶか・しゃかいか	これまで 家庭の中で行ってきた仕事 を、 家庭の外（製造業・サービス産業・公的福祉） が担うようになること。
中食 なかしよく	惣菜・弁当・ 冷凍食品 ・ハンバーグなどの 調理済み食品 を買って家で食べること。外食と内食（家庭での調理）の 中間 にあたる。
加工技術 かこうぎじゅつ	食品などを保存・調理しやすく加工する技術。 中食が手ごろな価格で手に入る ようになった背景。
公的福祉 こうてきふくし	保育・介護 など、家庭の育てる・介護する仕事を 公的な仕組み が支えるサービス。
サービス産業 サービスさんぎょう	外食店・クリーニング業 など、家庭の仕事を代わりに引き受ける サービス を売る産業。
クリーニング業 クリーニングぎょう	洗濯・衣服の手入れ という家庭の仕事を外部で引き受ける産業。家事の外部化の例。
AI化 エーアイか	家事を 機械やロボット が担うようになること。例として ロボット掃除機 がある。
ロボット掃除機 ロボットそうじき	自動で部屋を掃除する機械。家事の AI化 の代表例。
内食 ないしょく	家庭で食材から調理して食べる こと。中食・外食と対比される。
外食 がいしょく	飲食店などお店で食事をする こと。家庭の調理を外部に任せる形の一つ。

一問一答

1. 家庭で行ってきた仕事を、家庭の外（製造業・サービス産業・公的福祉）が担うようになることを何というか。
 答え： **家事の外部化・社会化**
2. 惣菜・弁当・冷凍食品・ハンバーグなど、買ってきて家で食べる調理済み食品を何というか。
 答え： **中食（なかしよく）**

3. 中食が手ごろな価格で手に入るようになった背景にある技術は何か。

答え：加工技術の進歩

4. 中食を利用することは、家庭の仕事のうち主に何の時間を短くするか。

答え：調理（の時短）

5. 保育・介護など、家庭の育てる・介護する仕事を支える公的な仕組みを何というか。

答え：公的福祉

6. 外食店やクリーニング業のように、家庭の仕事を代わりに引き受ける産業をまとめて何というか。

答え：サービス産業

7. 家事を機械やロボットが担うようになることを何というか。

答え：AI化

8. 家事のAI化の代表例として、教科書で挙げられている機械は何か。

答え：ロボット掃除機

9. 家事の外部化・社会化が進むことの良い面（便利になる面）の例を一つ挙げよ。

答え：調理や掃除などの手間・時間が省ける（例：中食で調理が時短になる、ロボット掃除機で掃除が楽になる）

10. 家事の外部化・社会化が進むことで失われるおそれのあるものを一つ挙げよ。

答え：手作りの良さや家族の時間（家庭ならではの良さ）

1. クリーニング業は、家庭のどの仕事を外部で引き受けているか。

答え：洗濯・衣服の手入れ

2. 家庭で食材から調理して食べることを、中食・外食に対して何というか。

答え：内食（ないしょく）

3. 中食・外食・内食のうち、お店で食事をするを指すのはどれか。

答え：外食

4. 家事を外部化するときに必要な考え方は何か。

答え：便利さと、失われるもの（手作りの良さ・家族の時間など）の両方を考えて選ぶこと

5. 保育・介護のように、家庭の中の「育てる・介護する」仕事を担う外部の仕組みは何か。

答え：公的福祉

6. 加工技術の進歩によって安く手に入るようになった、調理済み食品・惣菜・冷凍食品などをまとめて何と呼ぶか。

答え：中食（なかしょく）

ミニクイズ

1. 「家事の外部化・社会化」の説明として正しいものはどれか。

(1) 家庭の仕事を、家族の中だけで分担し直すこと (2) 家庭で行ってきた仕事を、家庭の外（製造業・サービス産業・公的福祉）が担うようになること (3) 家庭の仕事をすべて自動化して人がやらなくなること (4) 家庭の仕事を学校の授業で教えるようになること

答え：家庭で行ってきた仕事を、家庭の外（製造業・サービス産業・公的福祉）が担うようになること 家事の外部化・社会化とは、これまで家庭の中で行ってきた仕事を、製造業・サービス産業・公的福祉などの家庭の外が担うようになることをいう。

2. 次のうち「中食（なかしょく）」にあてはまるものはどれか。

(1) レストランで食事をする (2) スーパーで惣菜や冷凍食品を買って家で食べる (3) 家で食材から料理して食べる (4) 学校給食を食べる

答え：スーパーで惣菜や冷凍食品を買って家で食べる 中食は、惣菜・弁当・冷凍食品など調理済み食品を買って家で食べることで、外食と内食（家庭での調理）の中間にあたる。

3. ロボット掃除機の普及は、家事のAI化の例である。

答え：正しい（○） 家事を機械やロボットが担うようになることをAI化といい、ロボット掃除機はその代表例として教科書に挙げられている。

4. 家事の外部化・社会化が進めば、良いことばかりで失われるものは何もない。

答え：誤り（×） 便利になる一方で、手作りの良さや家族の時間などが失われるおそれもある。便利さと失われるものの両方を考えることが大切。

5. 加工技術の進歩により、惣菜・冷凍食品などの（ ）が手ごろな価格で手に入るようになり、調理の時短につながっている。

答え：中食（なかしょく） 加工技術の進歩で中食が安く手に入るようになり、家庭での調理の手間と時間が減った。

6. 保育・介護などを支える（ ）福祉や、外食店・クリーニング業などのサービス産業が、家庭の仕事の一部を引き受けている。

答え：公的 育てる・介護する仕事は公的福祉が、洗濯や食事の仕事はサービス産業（クリーニング業・外食店）が外部で担っている。

7. 次のうち、家事の外部化・社会化の例として最もふさわしくないものはどれか。

(1) 惣菜や冷凍食品（中食）を買う (2) クリーニング店に洗濯を頼む (3) 保育所に子どもを預ける (4) 家族で当番表を作り掃除を分担する

答え：家族で当番表を作り掃除を分担する 家族の中で分担するのは家庭内での工夫であり、家庭の外が仕事を担う「外部化・社会化」ではない。他の3つは家庭の外（産業・公的福祉）が担う例。

8. お弁当や惣菜、冷凍食品（中食）を使うことの「良い点」と「気になる点」を、それぞれ一つずつ書きなさい。

答え：(例) 良い点＝調理の手間と時間が省け、忙しくても食事を用意できる。気になる点＝手作りの良さが減り、栄養のかたよりや食費がかさむことがある。中食には時短・手軽さという良い点と、手作りの良さや栄養・費用面の気になる点の両面がある。両方を考えて使い方を選ぶことが大切。

9. 「内食・中食・外食」の区別として正しい組み合わせはどれか。

(1) 内食＝惣菜を買う／中食＝店で食べる／外食＝家で作る (2) 内食＝家で食材から作る／中食＝調理済み食品を買って家で食べる／外食＝店で食べる (3) 内食＝店で食べる／中食＝家で作る／外食＝惣菜を買う (4) すべて同じ意味である

答え：内食＝家で食材から作る／中食＝調理済み食品を買って家で食べる／外食＝店で食べる 内食は家庭での調理、外食は店での食事、中食はその中間で調理済み食品を買って家で食べることをいう。

10. クリーニング業は、家庭の「洗濯・衣服の手入れ」の仕事を外部で引き受けるサービス産業の例である。

答え：正しい (○) クリーニング業は家庭の着る仕事（洗濯・衣服の手入れ）を担うサービス産業で、家事の外部化の例である。

考えてみよう

お弁当・惣菜・冷凍食品（中食）を使うことの「良い点」と「気になる点」を、自分の家庭の生活を思い浮かべながら書き出してみよう。どんなときに中食を使うのがよいか、自分の考えをまとめよう。

ロボット掃除機などの家事のAI化が進むと、わたしたちの暮らしや家族で過ごす時間はどう変わるだろうか。便利になる面と、気をつけたい面の両方を話し合ってみよう。

家事を外部化・社会化することで「失われるもの（手作りの良さ・家族の時間など）」を取り戻すために、家庭でどんな工夫ができるか考えてみよう。

あなたの家庭では、どの家事を外部（中食・クリーニング・公的福祉・AIなど）に任せ、どの家事を自分たちで行いたいのか。理由もつけて話し合ってみよう。

2-3 生活にかかる費用と子育てを支える社会

要点まとめ

- 中学生の生活には、**学費・被服費・食費・教養娯楽費**など様々な費用がかかっており、円グラフでその構成（割合）を読み取ることができる。
- 一人暮らしを始めると、**家賃・食費・水道光熱費・通信費・被服費**など、それまで家庭が負担していた費用を自分で支払うことになる。
- 子どもが生まれて育つ過程（出生から思春期まで）には大きな費用がかかるため、家庭の負担を**社会全体で支える仕組み**が用意されている。
- 子育てを支える主な制度には**児童手当**があり、**2024年10月**から拡充され、対象が**高校生年代**まで広がられた。
- 幼児期の教育・保育の費用負担を軽くするため、**2019年10月**から**保育・幼児教育の無償化**が始まった。
- 子どもの医療費については、**自治体**による**医療費の無償化・助成**があり、出産時には**出産育児一時金**が支給される。

- ・ 保育・幼児教育への**公的支援を国際比較**（対GDP比・OECD資料）すると、**日本は他の先進国より低め**の傾向がある。

重要用語

学費 がくひ	学校で学ぶためにかかる費用。 教育 に関する費用で、中学生の生活費の大きな部分を占める。
被服費 ひふくひ	衣服（着るもの） を買ったり手入れしたりするためにかかる費用。
教養娯楽費 きょうようごらくひ	本・習い事・趣味・遊びなど、 学びや楽しみ のためにかかる費用。
水道光熱費 すいどうこうねつひ	水道・電気・ガス など、生活に必要なライフラインを使うためにかかる費用。一人暮らしで自分が負担する代表的な費用。
通信費 つうしんひ	スマートフォンやインターネット など、連絡や通信のためにかかる費用。
児童手当 じどうてあて	子どもを育てる家庭に 国（社会） から支給されるお金。 2024年10月 から拡充され、 高校生年代 まで支給されるようになった。
保育・幼児教育の無償化 ほいく・ようじきょういくのむしょうか	幼稚園・保育所などの利用料を 無料（無償） にする仕組み。 2019年10月 から始まった。
無償化 むしょうか	本来はお金がかかるサービスを 無料 で受けられるようにすること。
医療費の無償化・助成 いりょうひのむしょうか・じょせい	子どもが病院にかかったときの医療費を 自治体 が無料にしたり一部を負担したりする仕組み。住む地域（自治体）によって内容が異なる。
出産育児一時金 しゅっさんいくじいちじきん	子どもを 出産 したときに支給されるお金。出産にかかる費用の負担を軽くするための制度。
自治体 じちたい	都道府県や市区町村 のこと。医療費助成など、地域ごとの子育て支援を行う。
公的支援の国際比較 こうてきしえんのこくさいひかく	保育・幼児教育に国がどれだけお金を使っているかを 対GDP比 （OECD資料）で各国と比べたもの。 日本は他の先進国より低め の傾向がある。

一問一答

1. 中学生の生活にかかる費用として、学費・食費・教養娯楽費のほかに挙げられる、衣服にかかる費用は何か。

答え： **被服費**

2. 教養娯楽費とは、何のためにかかる費用か。

答え：本・習い事・趣味・遊びなど、学びや楽しみのためにかかる費用

3. 一人暮らしを始めると新たに自分で支払うことになる、住む場所のためにかかる費用を何というか。

答え：家賃

4. 水道・電気・ガスを使うためにかかる費用をまとめて何というか。

答え：水道光熱費

5. スマートフォンやインターネットを使うためにかかる費用を何というか。

答え：通信費

6. 子どもを育てる家庭に、国（社会）から支給されるお金を何というか。

答え：児童手当

7. 児童手当が拡充され、高校生年代まで支給されるようになったのはいつからか。

答え：2024年10月（から）

8. 幼稚園・保育所などの利用料を無料にする「保育・幼児教育の無償化」が始まったのはいつからか。

答え：2019年10月（から）

9. 子どもの医療費を無料にしたり一部を負担したりする「医療費の無償化・助成」を行っているのは、国ではなくどこか。

答え：自治体（都道府県や市区町村）

10. 子どもを出産したときに、出産費用の負担を軽くするために支給されるお金を何というか。

答え：出産育児一時金

1. 子育てにかかる大きな費用を、家庭だけでなく誰が支える仕組みになっているか。

答え：社会（社会全体）

2. 保育・幼児教育への公的支援を国際比較するとき、各国の支出を比べる基準として用いられる指標は何か。

答え：対GDP比（GDPに対する割合）

3. 保育・幼児教育への公的支援の国際比較（OECD資料）では、日本は他の先進国と比べてどのような傾向があるか。

答え：他の先進国より低め（の傾向がある）

4. 中学生の生活費の構成（割合）は、どのような図で示されているか。

答え：円グラフ

5. 都道府県や市区町村のことをまとめて何というか。

答え：自治体

図表の読み取り

1. 中学生の生活費の構成を示す円グラフから読み取れる、生活にかかる費用の種類を4つ答えなさい。

→ 学費・被服費・食費・教養娯楽費（など）

2. 保育・幼児教育への公的支援の国際比較（対GDP比・OECD資料）のグラフから、日本の支援の水準は他の先進国と比べてどうだと読み取れるか。

→ 他の先進国より低め（の傾向がある）

3. 一人暮らしにかかる費用のグラフ（例）に挙げられている費用を、家賃のほかに3つ答えなさい。

→ **食費・水道光熱費・通信費（被服費なども可）**

ミニクイズ

1. 児童手当が拡充され、高校生年代まで支給されるようになったのはいつからか。

(1) 2019年10月 (2) 2024年10月 (3) 2007年4月 (4) 2021年4月

答え：**2024年10月** 児童手当は2024年10月から拡充され、対象が高校生年代まで広げられた。2019年10月は「保育・幼児教育の無償化」が始まった時期なので混同しないこと。

2. 「保育・幼児教育の無償化」が始まったのはいつからか。

(1) 2019年10月 (2) 2024年10月 (3) 2016年4月 (4) 2025年4月

答え：**2019年10月** 幼稚園・保育所などの利用料を無料にする無償化は2019年10月から始まった。児童手当の拡充（2024年10月）とセットで年月を覚える。

3. 子どもの医療費を無料にしたり一部を負担したりする医療費の無償化・助成を行っているのは、国ではなく（ ）である。

答え：**自治体（都道府県や市区町村）** 医療費助成は自治体（都道府県や市区町村）が実施するため、住む地域によって内容が異なる。

4. 一人暮らしを始めると、住む場所のためにかかる（ ）や、水道・電気・ガスにかかる水道光熱費などを自分で支払うことになる。

答え：**家賃** 一人暮らしの費用には家賃・食費・水道光熱費・通信費・被服費などがある。家庭で暮らすときは家族が負担していた費用を、自分で負担するようになる。

5. 保育・幼児教育への公的支援を対GDP比で国際比較すると、日本は他の先進国より高い傾向がある。

答え：**誤り（×）** OECD資料による国際比較では、日本は他の先進国より低めの傾向がある。「高い」ではなく「低め」が正しい。

6. 児童手当や出産育児一時金は、子育てにかかる費用を社会全体で支えるための仕組みである。

答え：**正しい（○）** 子育てには大きな費用がかかるため、児童手当・無償化・医療費助成・出産育児一時金などで家庭の負担を社会が支えている。

7. 次のうち、中学生の生活にかかる費用として教科書に挙げられていないものはどれか。

(1) 学費 (2) 被服費 (3) 教養娯楽費 (4) 家賃

答え：**家賃** 中学生の生活費の例は学費・被服費・食費・教養娯楽費など。家賃は「一人暮らしにかかる費用」の例として挙げられている。

8. 子どもを出産したときに支給され、出産費用の負担を軽くするお金を（ ）という。

答え：**出産育児一時金** 出産育児一時金は出産時に支給される。児童手当（育てる家庭への継続的な支給）と区別して覚える。

9. 中学生の生活費の構成（割合）を示すのに使われている図は何か。

(1) 折れ線グラフ (2) 円グラフ (3) 棒グラフ (4) 表

答え：**円グラフ** 費用の構成（全体に占める割合）は円グラフで示されている。割合を表すのに円グラフが適している。

0. 子育てにかかる費用を家庭だけでなく社会が支える仕組みを、具体的な制度名を2つ以上挙げて説明しなさい。

答え：(例) 子育てには大きな費用がかかるため、社会が支える制度が用意されている。子どもを育てる家庭にお金を支給する児童手当（2024年10月から高校生年代まで拡充）、幼稚園・保育所の利用料を無料にする保育・幼児教育の無償化（2019年10月から）、自治体による医療費の無償化・助成、出産時の出産育児一時金などがある。児童手当・無償化・医療費助成・出産育児一時金のうち2つ以上を、その内容とともに説明できれば正解。年月（2024年10月／2019年10月）まで書けるとより良い。

考えてみよう

自分（中学生）の生活には、実際にどのような費用がどれくらいかかっているか調べてみよう。家族がどの費用を負担してくれているかにも注目し、円グラフにまとめてみよう。

もし将来一人暮らしを始めるとしたら、家賃・食費・水道光熱費・通信費などにどれくらいお金がかかるか調べ、家庭で暮らす今との違いを話し合ってみよう。

児童手当・無償化・医療費助成・出産育児一時金などの制度がなかったら、子育て家庭の生活はどう変わるだろうか。社会全体で子育てを支えることの意味を話し合ってみよう。

日本は保育・幼児教育への公的支援が他の先進国より低めの傾向にある。子育てしやすい社会にするために、社会の仕組みとしてどんな支援が増えるとよいか考えてみよう。

3-1 家族の構成

要点まとめ

- この単元の学習の目標は、**家族・家庭の多様なあり方**を理解することである。世の中には様々な暮らし方があり、これが「**ふつうの家族**」という決まった形は存在しない。
- 家族の構成にはいろいろな形がある。代表的な例は、**三世帯家族（祖父母・親・子）**、**二世帯家族**、夫婦と子ども、**ひとり親と子ども**、夫婦のみ、一人で暮らす**単独世帯**などである。
- 夫婦のみ・夫婦と子ども・ひとり親と子どものように、**親（夫婦）とその子どもだけ**で構成される家族を**核家族**という。
- 近年は、祖父母・親・子が一緒に暮らす三世帯家族が減り、**核家族化**が進んできた。これは家族の人数が**少人数化**する大きな流れである。
- 家族の形は時代や事情によって変わるため、どの家族の形が正しい・えらいということはなく、**どの家族も等しく大切に**されるべきである。
- 「家族（family）」「家庭（home）」という言葉の**語源**や、家族をテーマにした絵本などを通して、家族とは何かを自分なりに考えることが大切である。
- 自分にとっての「**家族**」「**家庭**」とは何かを考えることで、これからの自分の生き方や、家族とのかかわり方を見つめ直すことができる。

重要用語

家族の構成 かぞくのこうせい	家族が どのような人々（祖父母・親・子など）の組み合わせ でつくられているか、という家族のメンバーの構成のこと。
核家族 かくかぞく	夫婦のみ、夫婦と子ども、ひとり親と子ども のように、 親（夫婦）とその子どもだけ で構成される家族のこと。
核家族化 かくかぞくか	祖父母も一緒に暮らす三世帯家族などが減り、 核家族が増えていく 社会の変化のこと。近年進んできた。
三世帯家族 さんせたいかぞく	祖父母・親・子 の三つの世代が一緒に暮らす家族のこと。近年は核家族化により減ってきた。
二世帯家族 にせたいかぞく	二つの世代 が一緒に暮らす家族のこと。たとえば親世帯と子世帯が同じ住まいで暮らす形など。
単独世帯 たんどくせたい	一人で暮らしている 世帯（家庭）のこと。
ひとり親と子ども ひとりおやとこども	父か母のどちらか一方 と子どもで構成される家族のこと。核家族の一つの形。
夫婦のみ ふうふのみ	子どものいない夫婦だけ で構成される家族のこと。核家族の一つの形。
ふつうの家族 ふつうのかぞく	様々な暮らし方があるため、「 これがふつう 」という 決まった家族の形は存在しない という考え方を表す言葉。
家族・家庭の多様なあり方 かぞく・かていのたようなありかた	家族の構成や暮らし方は 一人ひとり・一つひとつ違ってよい という考え。この単元の学習の目標。

一問一答

1. この単元（3-1 家族の構成）の学習の目標は何か。

答え： **家族・家庭の多様なあり方を理解すること。**

2. 祖父母・親・子の三つの世代が一緒に暮らす家族を何というか。

答え： **三世帯家族**

3. 二つの世代が一緒に暮らす家族を何というか。

答え： **二世帯家族**

4. 夫婦のみ、夫婦と子ども、ひとり親と子どものように、親（夫婦）とその子どもだけで構成される家族を何というか。

答え： **核家族**

5. 近年、三世帯家族などが減り、核家族が増えていく社会の変化を何というか。

答え： **核家族化**

6. 一人で暮らしている世帯（家庭）を何というか。

答え： **単独世帯**

7. 父か母のどちらか一方と子どもで構成される家族を何と呼ぶか。

答え：ひとり親と子ども（ひとり親家庭）

8. 子どものいない夫婦だけで構成される家族を何と呼ぶか。

答え：夫婦のみ

9. 近年、三世帯家族から核家族への変化が進んだことで、家族の人数はどうなる傾向にあるか。

答え：少人数化する傾向にある。

10. 「ふつうの家族」という決まった形は存在するか。

答え：存在しない。様々な暮らし方があり、家族の形は決まっていない。

1. 核家族には具体的にどのような形があるか、3つ挙げよ。

答え：夫婦のみ／夫婦と子ども／ひとり親と子ども

2. この単元で語源が紹介されている2つの英語の言葉は何か。

答え：family（家族）と home（家庭）

3. 様々な家族の形がある中で、どの家族の形が一番正しい・えらいといえるか。

答え：どの形が正しい・えらいということはなく、どの家族も等しく大切である。

4. 家族の形（家族構成）が変わる理由には、たとえばどのようなものがあるか。

答え：時代の変化や、それぞれの家族の事情（同居・別居、子どもの有無など）による。

5. 3-1 の「考えてみよう」で問いかけてられているテーマは何か。

答え：あなたにとっての「家族」「家庭」とは何か、ということ。

ミニクイズ

1. 次のうち「核家族」にあてはまらないものはどれか。

(1) 夫婦のみ (2) 夫婦と子ども (3) ひとり親と子ども (4) 祖父母・親・子の三世帯家族

答え：祖父母・親・子の三世帯家族 核家族とは、夫婦のみ・夫婦と子ども・ひとり親と子どものように、親（夫婦）とその子どもだけで構成される家族のこと。祖父母を含む三世帯家族は核家族ではない。

2. 近年は核家族から三世帯家族への変化（三世帯化）が進んでいる。

答え：誤り 逆である。近年は三世帯家族などが減り、核家族が増える『核家族化』が進んでいる。

3. 祖父母・親・子の三つの世代が一緒に暮らす家族を（ ）家族という。

答え：三世帯 三つの世代（祖父母・親・子）が暮らすので三世帯家族。二つの世代なら二世帯家族。

4. 一人で暮らしている世帯を（ ）世帯という。

答え：単独 一人だけで構成される世帯を単独世帯という。

5. 様々な暮らし方があるため、「ふつうの家族」という決まった形は存在しない。

答え：正しい 家族の構成や暮らし方は多様であり、どれか一つが『ふつう』と決まっているわけではない。これがこの単元の中心の考え方。

6. この単元（3-1 家族の構成）の学習の目標として最も適切なものはどれか。

(1) 家族の中で誰が一番えらいかを決めること (2) 家族・家庭の多様なあり方を理解すること
(3) 正しい家族の形を一つに決めること (4) 家事の分担を決めること

答え：家族・家庭の多様なあり方を理解すること 3-1 の目標は、家族・家庭にはいろいろな形があることを理解することである。

7. 親（夫婦）とその子どもだけで構成される家族を（ ）という。

答え：核家族 夫婦のみ・夫婦と子ども・ひとり親と子どもがこれにあたる。

8. 次のうち、家族の構成の例として本文で挙げられていないものはどれか。

(1) 夫婦と子ども (2) ひとり親と子ども (3) 会社の同僚どうし (4) 単独世帯

答え：会社の同僚どうし 本文で挙げられている例は、三世帯家族・二世帯家族・夫婦と子ども・ひとり親と子ども・夫婦のみ・単独世帯など。会社の同僚どうしは家族構成の例ではない。

9. 家族構成にはいろいろな形があるが、どの形が一番正しい・えらいということはなく、どの家族も等しく大切にされるべきである。

答え：正しい 様々な家族の形があり、優劣はない。多様なあり方を尊重するのがこの単元の考え方。

0. 「核家族化が進んだ」とはどういうことか、三世帯家族という言葉を使って説明しなさい。

答え：祖父母・親・子と一緒に暮らす三世帯家族などが減り、夫婦のみ・夫婦と子ども・ひとり親と子どもといった核家族が増えていく社会の変化が進んだこと。核家族化とは、三世帯家族から核家族へと家族の構成が変わっていく流れのこと。これにより家族は少人数化する傾向にある。

考えてみよう

あなたの身近にある家族には、どのような構成（三世帯家族・核家族・単独世帯など）があるか、いくつか思い浮かべてみよう。そして、それぞれの暮らし方にどのような良さがあるかを話し合ってみよう。

「ふつうの家族」という決まった形はない、という考え方について、自分はどうか。なぜ家族の多様なあり方を理解することが大切なのかを考えてみよう。

あなたにとっての「家族」「家庭」とはどのようなものか。家族・家庭がもつ役割や、自分が大切にしたいことを言葉にしてみよう。

近年、核家族化（三世帯家族から核家族への変化）が進んできた。家族が少人数になることで、便利になる点・助け合いの面で気になる点はそれぞれ何か、話し合ってみよう。

3-2 多様な家族関係

要点まとめ

- 中学生になると、これまで親に頼ってきたことを自分のことは自分で考えたいと思うようになる。これは大人へ向かう成長の自然なあらわれである。
- 親と異なる考えを持って反発することもあるが、それは悪いことではなく、自立のための大事な時期だととらえることが大切である。
- 休日の過ごし方を見ると、中学生は小学生より「友だちと過ごす」割合が高い傾向があり、その分、家族と過ごす時間やひとりで過ごす時間は減っていく。
- 人とのつながりには、家族・親などの「タテ」の関係と、友だちなどの「ヨコ」の関係があり、成長とともにヨコの関係が広がっていく。

- ・タテの関係（家族）とヨコの関係（友だち）は**どちらも大切**であり、両方をバランスよく持つことが、心の安定や成長につながる。
- ・家族の中には、本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている**ヤングケアラー**とよばれる子どももいて、家族関係は人によって多様である。
- ・「ふつうの家族」は決まっておらず、**家族のかたちもかわり方も一人ひとり違う**。多様な家族関係があることを理解することが大切である。

重要用語

多様な家族関係 たようなかぞくかんけい	家族のかたちやかかわり方は 一人ひとり違い、「ふつう」は決まっていない という考え方。
自立 じりつ	何でも一人でやることなく、 自分で考えて行動し、必要なときは人に助けを求められること 。中学生はその準備をする時期。
反発 はんぱつ	親と 異なる考え を持ち、ぶつかること。中学生期にはよく見られ、 自立のための大事な過程 である。
タテの関係 たてのかんけい	家族・親など との上下や世代をこえたつながり。生まれたときから続く基盤となる関係。
ヨコの関係 よこのかんけい	友だちなど 対等な立場の人とのつながり。中学生になると 広がっていく 関係。
休日の過ごし方 きゅうじつのすごしかた	だれと休日を過ごすかの調査。中学生は小学生より 「友だちと過ごす」割合が高い 傾向がある。
ヤングケアラー やんぐけあらー	本来 大人が担うような家事や家族の世話 （介護・看病・きょうだいの世話など）を日常的に行っている 子ども 。
青年期 せいねんき	子どもから大人へ移っていく時期 。中学生はその入り口にあたり、自立に向けて心も体も大きく変化する。
家族のかたち かぞくのかたち	夫婦と子ども、ひとり親と子ども、里親家庭などさまざまで、 決まった「正しい形」はない 。

一問一答

1. 中学生になると、親に頼ってきたことについてどう思うようになるか。
 答え： **自分のことは自分で考えたいと思うようになる**。
2. 親と異なる考えで反発することがあるが、それは中学生にとってどのような時期だといえるか。
 答え： **自立のための大事な時期**。
3. 「何でも一人でやること」ではなく、「自分で考えて行動し、必要なときは人に助けを求められること」を何というか。
 答え： **自立**

4. 家族・親などとの世代をこえた上下のつながりを何の関係というか。

答え：タテの関係

5. 友だちなど対等な立場の人とのつながりを何の関係というか。

答え：ヨコの関係

6. 小学生と中学生では、どちらの方が「友だちと過ごす」割合が高い傾向があるか。

答え：中学生

7. 中学生の休日の過ごし方で、「友だちと過ごす」割合はおおよそ何%か（教科書の概数）。

答え：約59%

8. 小学生の休日の過ごし方で、「友だちと過ごす」割合はおおよそ何%か（教科書の概数）。

答え：約49%

9. 成長とともに広がっていくのは、タテの関係とヨコの関係のどちらか。

答え：ヨコの関係（友だちなどとのつながり）

10. 本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子どもを何というか。

答え：ヤングケアラー

1. 「ふつうの家族」は決まっているか。

答え：決まっていない（家族のかたちもかわり方も一人ひとり違う）。

2. 中学生が親に反発することは、悪いことだといえるか。

答え：悪いことではなく、大人へ成長し自立していく自然な過程である。

3. タテの関係とヨコの関係は、どちらか一方だけを大切にすればよい。

答え：どちらも大切に、両方をバランスよく持つことが望ましい。

4. 子どもから大人へ移っていく時期で、中学生がその入り口に当たる時期を何というか。

答え：青年期

5. 中学生になって家族と過ごす時間や、ひとりで過ごす時間はどのように変化する傾向があるか。

答え：友だちと過ごす時間が増える分、減っていく傾向がある。

図表の読み取り

1. 円グラフ「小学生と中学生の休日の過ごし方」で、中学生が最も多く選んでいる過ごし方は何か。

→ 友だちと過ごす（中学生 約59%）。

2. 同じ図表で、「ひとりで過ごす」割合は小学生と中学生でどう変化しているか（概数）。

→ 小学生 約16% → 中学生 約13% と、わずかに低くなっている。

3. 同じ図表で、「家族と過ごす」割合は小学生と中学生でどう変化しているか（概数）。

→ 小学生 約35% → 中学生 約28% と、低くなっている。

4. この図表全体から、中学生の人間関係についてどのような変化が読み取れるか。

→ 家族と過ごす時間が減り、友だちと過ごす時間が増える＝ヨコの関係が広がっていることが読み取れる。

ミニクイズ

1. 中学生になると、家族関係について多くの子どもが感じるようになることはどれか。

(1) 何でも親に決めてほしい (2) 自分のことは自分で考えたい (3) 家族と話したくなくなるのが正常だ (4) 友だちを作ってはいけない

答え： **自分のことは自分で考えたい** 中学生は、これまで親に頼ってきたことを「自分のことは自分で考えたい」と思うようになる。これは大人へ向かう成長のあらわれである。

2. 中学生が親と異なる考えで反発するのは、自立のための大事な時期のあらわれである。

答え： **正しい** 反発は悪いことではなく、自分で考えて行動しようとする自立への大切な過程である。

3. 家族・親などとのつながりを「() の関係」、友だちなどとのつながりを「() の関係」という。

答え： **タテ／ヨコ** 家族・親などは「タテの関係」、友だちなど対等な相手は「ヨコの関係」。成長とともにヨコの関係が広がる。

4. 休日の過ごし方について、中学生に最も当てはまる傾向はどれか。

(1) 小学生より家族と過ごす割合が高い (2) 小学生より友だちと過ごす割合が高い (3) 小学生よりひとりで過ごす割合が高い (4) 小学生とまったく同じ割合である

答え： **小学生より友だちと過ごす割合が高い** 教科書の概数では、友だちと過ごす割合は小学生約49%に対し中学生約59%と高くなる傾向がある。

5. 本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子どもを（ ）という。

答え： **ヤングケアラー** 介護・看病・きょうだいの世話などを日常的に担う子どものこと。家族関係の多様さの一例である。

6. 「ふつうの家族」のかたちは社会で一つに決まっている。

答え： **誤り** 家族のかたちもかわり方も一人ひとり違い、決まった「正しい形」はない。

7. 「タテの関係」と「ヨコの関係」の違いを、それぞれ具体例を入れて簡単に説明しなさい。

答え： **タテの関係は家族・親など世代をこえた上下のつながりで、生まれたときからの基盤となる関係。ヨコの関係は友だちなど対等な立場の人とのつながりで、中学生になると広がっていく。** タテ＝家族・親、ヨコ＝友だち、と具体例を挙げ、どちらも大切である点に触れられていればよい。

8. 次のうち、中学生の自立について正しい説明はどれか。

(1) 自立とは何でも一人でやることである (2) 自立とは人に助けを求めないことである (3) 自立とは自分で考え、必要なときは人に助けを求められることである (4) 自立とは家族と離れて暮らすことである

答え： **自立とは自分で考え、必要なときは人に助けを求められることである** 自立は「一人で全部やる」ことではなく、自分で考えて行動しつつ、必要なときに助けを求められることを意味する。

9. タテの関係とヨコの関係は、どちらもバランスよく持つことが大切である。

答え： **正しい** 家族とのタテの関係、友だちとのヨコの関係はどちらも大切で、両方を持つことが心の安定や成長につながる。

考えてみよう

あなたは休日をだれと過ごすことが多いだろうか。小学生のころと比べて、家族・友だち・ひとりで過ごす時間はどう変わったか、その理由も考えて話し合ってみよう。

「タテの関係（家族）」と「ヨコの関係（友だち）」には、それぞれどんな良さがあるだろうか。両方を大切にするために自分にできる工夫を考えてみよう。

親と考えが合わずに反発してしまったとき、自立につなげるためにはどう向き合えばよいか。家族とよりよい関係を保つ方法を出し合ってみよう。

3-3 変化する家族関係・大切な他者への相談（相談窓口・ヤングケアラー）

要点まとめ

- ・ 家族関係は、**弟妹の誕生・親の死・結婚・離婚・災害**などのできごとによって変化していく。家族の形やかかわり方は一生を通して変わり続ける。
- ・ 事情があって親と暮らせない子どもを、家庭に迎えて育てる人や制度を**里親**といい、法律上の親子関係を結ぶ**養子縁組**という形もある。
- ・ 家族だけでは解決できない問題は、**友だち・地域の相談窓口・行政の窓口**に相談してよい。一人がかえこまず大切な他者に相談することが大切である。
- ・ 子どもの相談窓口のうち**児童相談所**は各自治体に設置され、全国共通ダイヤルは**189（いちはやく）**である。
- ・ **チャイルドライン**は**18歳まで**の子どものための電話・チャット相談で、電話番号は**0120-99-7777**、**名前を言わなくてよい**のが特徴である。
- ・ 本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子どもを**ヤングケアラー**という。
- ・ ヤングケアラーには、地域の支えとして**ヤングケアラー交流サロン**（例：北海道札幌市）のような取り組みがある。
- ・ ヤングケアラーを経験した人の声では、「すごいね」よりも「**つらいよね**」と**受け止めてほしかった**と語られており、本人の気持ちに寄り添うことが求められる。

重要用語

里親 さとおや	事情により 親と暮らせない子ども を、自分の家庭に迎えて育てる人や、その制度のこと。
養子縁組 ようしえんぐみ	血のつながりがなくても、 法律上の親子関係 を結んで子どもを育てる方法。
児童相談所 じどうそうだんじょ	子どもや家庭の問題の相談を受ける公的な機関。 各自治体に設置 され、全国共通ダイヤルは 189 。
189（いちはやく） いちきゅうきゅう	児童相談所 につながる全国共通ダイヤル。「いちはやく」と覚える。
チャイルドライン	18歳まで の子どものための電話・チャット相談（0120-99-7777）。 名前を言わなくてよい 。

思春期相談 ししゅんきそうだん	心や体の変化、人間関係の悩みなど、 思春期の悩み について相談できる窓口。
ヤングケアラー	本来は 大人が担うような家事や家族の世話 （介護・看病・きょうだいの世話など）を、 日常的に行っている子ども のこと。
ヤングケアラー交流サロン	ヤングケアラーどうしが集まって話したり支え合ったりできる地域の場（例： 北海道札幌市 ）。
大切な他者 たいせつなたしや	家族以外で自分を支えてくれる人。 友だち・地域や行政の相談窓口 など、困ったときに相談できる相手。
若年性認知症 じゃくねんせいにんちしょう	比較的若い世代 で発症する認知症。家族が介護を担う場合、子どもがヤングケアラーになることがある。

一問一答

1. 家族関係が変化するきっかけとして、教材に挙げられているできごとを4つ答えなさい。
 答え：**弟妹の誕生、親の死、結婚・離婚、災害（など）**
2. 事情により親と暮らせない子どもを、自分の家庭に迎えて育てる人や制度を何というか。
 答え：**里親**
3. 血のつながりがなくても法律上の親子関係を結んで子どもを育てる方法を何というか。
 答え：**養子縁組**
4. 家族だけで解決できない問題は、どこに相談してよいか。相談先を3つ答えなさい。
 答え：**友だち、地域の相談窓口、行政（公的）の窓口**
5. 子どもや家庭の問題の相談を受け、各自治体に設置されている公的機関を何というか。
 答え：**児童相談所**
6. 児童相談所につながる全国共通ダイヤルの番号は何番か。
 答え：**189（いちはやく）**
7. 「189」はどのような語呂で覚えるとよいか。
 答え：**いちはやく**
8. 18歳までの子どものための電話・チャット相談の名前は何か。
 答え：**チャイルドライン**
9. チャイルドラインの電話番号は何番か。
 答え：**0120-99-7777**
10. チャイルドラインに相談するとき、名前について特徴的な点は何か。
 答え：**名前を言わなくてよい（匿名で相談できる）**
1. 本来大人が担うような家事や家族の世話を、日常的に行っている子どものことを何というか。
 答え：**ヤングケアラー**
2. ヤングケアラーが日常的に行っている世話の具体例を2つ答えなさい。
 答え：**介護、看病、きょうだいの世話（などから2つ）**

3. ヤングケアラーどうしが集まって支え合える地域の場合として、北海道札幌市にある取り組みは何か。

答え：ヤングケアラー交流サロン

4. ヤングケアラーを経験した人は、「すごいね」よりもどのような言葉で受け止めてほしかったと語っているか。

答え：「つらいよね」と受け止めてほしかった

5. 心や体の変化、人間関係の悩みなどを相談できる、子どもの相談窓口の一つを何というか。

答え：思春期相談

6. 困ったとき、一人でかかえこむのではなくどうすることが大切か。

答え：家族や大切な他者（友だち・相談窓口など）に相談すること

ミニクイズ

1. 児童相談所につながる全国共通ダイヤルの番号はどれか。

(1) 110 (2) 119 (3) 189 (4) 177

答え：189 189は児童相談所につながる全国共通ダイヤルで、「いちはやく」と覚える。110は警察、119は消防・救急。

2. 次のうち、ヤングケアラーの説明として正しいものはどれか。

(1) 習い事を毎日たくさんしている子ども (2) 本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子ども (3) スポーツの大会で活躍する子ども (4) 学校を休みがちなお子さんのこと全般

答え：本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子ども ヤングケアラーは、介護・看病・きょうだいの世話など、本来大人が担うような世話を日常的に行っている子どもをさす。

3. チャイルドラインは、相談するときに必ず自分の名前を伝えなければならない。

答え：×（誤り） チャイルドラインは名前を言わなくてよい（匿名で相談できる）のが特徴。18歳までの子どものための電話・チャット相談。

4. 里親とは、必ず血のつながりのある祖父母が孫を育てる制度のことである。

答え：×（誤り） 里親は、事情により親と暮らせない子どもを家庭に迎えて育てる人や制度。血のつながりは必須ではない。

5. 血のつながりがなくても法律上の親子関係を結んで子どもを育てる方法を（ ）という。

答え：養子縁組 養子縁組は法律上の親子関係を結ぶ方法。里親とあわせて、親と暮らせない子どもを家庭で育てる仕組みである。

6. 児童相談所の全国共通ダイヤルは（ ）番で、語呂は「（ ）」である。

答え：189／いちはやく 189＝いちはやく。子どもの命や安全に関わる相談を「いちはやく」つながための番号。

7. 本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子どもを（ ）という。

答え：ヤングケアラー ヤングケアラーは、介護や看病、きょうだいの世話などを担う子どもで、支援や周囲の理解が必要とされている。

8. 家族だけでは解決できない問題があるとき、どうすればよいか。相談先の例を挙げて説明しなさい。

答え：一人でかかえこまず、家族以外の大切な他者に相談してよい。友だちや、地域の相談窓口、行政の窓口（児童相談所＝189、チャイルドライン＝0120-99-7777など）に相談する方法がある。困ったときに相談することは弱いことではなく、自立（必要なときに助けを求められること）につながる大切な行動である。

9. ヤングケアラーを経験した人の声から、周囲はどのように接するとよいと考えられるか。

答え：「すごいね」とほめるだけでなく、「つらいよね」と本人のつらい気持ちを受け止め、寄り添うことが大切である。がんばりをほめられるより、しんどさを理解してほしいという声があり、本人の気持ちに寄り添う姿勢が求められる。

10. ヤングケアラーどうしが集まって話したり支え合ったりできる、北海道札幌市の地域の取り組みはどれか。

（1）放課後児童クラブ （2）ヤングケアラー交流サロン （3）デイサービス （4）ハローワーク

答え：ヤングケアラー交流サロン 札幌市のヤングケアラー交流サロンは、同じ立場の子どもどうしがつながり支え合える地域の場である。

考えてみよう

あなたや身近な人にとって、家族関係が変化した（あるいはこれから変化しそうな）できごとには、どのようなものがあるだろうか。そのとき、誰に相談できそうかも考えてみよう。

もし友だちが「家の手伝いや家族の世話で忙しくて、勉強や遊ぶ時間がない」と話してきたら、あなたはどんな言葉をかけ、どんな窓口（189・チャイルドラインなど）と一緒に思い出してあげられるだろうか。

「名前を言わなくてよい相談窓口」があるのはなぜだろうか。匿名で相談できることの良い点について話し合ってみよう。

ヤングケアラーが安心して暮らせるために、家庭・学校・地域・社会はそれぞれどんな支えができるか、アイデアを出し合ってみよう。

3-4 ジェンダーと家庭（性別役割分業・女性差別撤廃条約・ウェルビーイング・ライフコース）

要点まとめ

- ・ 約30年前まで、家庭科は**女子だけ**が学ぶ教科だった（中学は技術・家庭で男女別、高校の家庭科は女子のみ）。**女性差別撤廃条約**の批准などを受け、今は**男女がともに**家庭科を学ぶようになった。
- ・ 「男は外で働き、女は内で働く」という考え方を**性別役割分業**という。これは生まれつき決まったものではなく、社会の中でつくられてきた考え方である。
- ・ **ジェンダー**とは、生物学的な性別とは別に、**社会的・文化的につくられた性別**（役割や「女らしさ・男らしさ」）のことをいう。1950年代後半～90年代の教育などで固定的にとらえられてきた。
- ・ 家事関連時間には**男女の差**が大きく、一般に**妻（女性）**の家事関連時間のほうが夫（男性）より長い傾向がある。これからは性別にとらわれず**協力して分担**することが大切である。

- ・ **ウェルビーイング (well-being)** とは、心身ともに健康で、満たされ、**幸せに暮らす状態**のことをいう。家庭生活でも一人ひとりのウェルビーイングを大切にする。
- ・ 結婚・仕事・子育てをどう組み合わせるかという人生の道筋を **ライフコース** という。主なコースに **両立コース・DINKS・専業主婦コース・再就職コース** がある。
- ・ 未婚女性・未婚男性（18～34歳）の理想のライフコース調査（**1987年→2021年**）では、近年は仕事と家庭を両立する **両立コース** を理想とする割合が **増加** している。
- ・ 性別役割分業やジェンダーにとらわれず、自分の希望にそって **自分らしいライフコース** を選び、男女が協力して暮らすことが、これからの家庭生活では大切である。

重要用語

ジェンダー じぇんだー	生物学的な性別とは別に、 社会的・文化的につくられた性別 のこと。役割や「女らしさ・男らしさ」など。
性別役割分業 せいべつやくわりぶんぎょう	「 男は外で働き、女は内で働く 」のように、性別によって仕事や役割を分ける考え方。生まれつきではなく社会がつくったもの。
女性差別撤廃条約 じょせいさべつてつぱいじょうやく	女性に対するあらゆる差別をなくす ことを目指す国際条約。日本の批准などを受け、家庭科を男女がともに学ぶようになった。
ウェルビーイング うえるびーいんぐ	心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態 のこと（well-being）。
ライフコース らいふこーす	結婚・仕事・子育てなどを どう組み合わせるか という、一人の人生の道筋・生き方の選択。
両立コース りょうりつこーす	結婚・出産後も 仕事と家庭の両方を続ける 生き方。近年、理想とする割合が増えている。
DINKS でいんくす	結婚しても 子どもをもたず 、夫婦がともに働き続ける生き方（Double Income No Kids）。
専業主婦コース せんぎょうしゅふこーす	結婚・出産を機に仕事をやめ、 家事・育児に専念する 生き方。
再就職コース さいしゅうしょくこーす	結婚・出産でいったん仕事をやめ、子育てが落ち着いたなら 再び働き始める 生き方。
家事関連時間 かじかんれんじかん	家事・育児・介護・買い物など家庭の仕事に使う時間。一般に 女性のほうが長い 傾向がある。
技術・家庭（技術家庭科） ぎじゅつ・かてい	中学校の教科。約30年前までは 男女別 に学んでいたが、今は男女がともに家庭分野を学ぶ。

一問一答

1. 「男は外で働き、女は内で働く」という性別によって役割を分ける考え方を何というか。
答え： **性別役割分業**
2. 生物学的な性別とは別に、社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）を何というか。
答え： **ジェンダー**
3. 女性に対するあらゆる差別をなくすことを目指す国際条約を何というか。
答え： **女性差別撤廃条約**
4. 約30年前まで、家庭科はどのような人が学ぶ教科だったか。
答え： **女子だけ（中学は男女別、高校の家庭科は女子のみ）**
5. 今、中学校・高校では家庭科を誰が学んでいるか。
答え： **男女がともに学んでいる**
6. 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を表す言葉を何というか（英語のカタカナ）。
答え： **ウェルビーイング（well-being）**
7. 結婚・仕事・子育てをどう組み合わせるかという、一人の人生の道筋を何というか。
答え： **ライフコース**
8. 結婚・出産後も仕事と家庭の両方を続けるライフコースを何というか。
答え： **両立コース**
9. 結婚しても子どもをもたず、夫婦がともに働き続ける生き方をアルファベットで何というか。
答え： **DINKS（ディンクス）**
0. 結婚・出産を機に仕事をやめ、家事・育児に専念するライフコースを何というか。
答え： **専業主婦コース**
1. 結婚・出産でいったん仕事をやめ、子育てが落ち着いたら再び働くライフコースを何というか。
答え： **再就職コース**
2. ジェンダー（社会的・文化的な性別）が固定的にとらえられてきたのは、おおよそいつ頃の教育などによるか。
答え： **1950年代後半～90年代**
3. 未婚女性・未婚男性（18～34歳）の理想のライフコース調査は、何年から何年への変化を示しているか。
答え： **1987年から2021年への変化**
4. 理想のライフコースの調査で、近年とくに割合が増えているのはどのコースか。
答え： **両立コース**
5. 夫婦と子どもの世帯で、夫と妻の家事関連時間を比べると、一般にどちらが長い傾向があるか。
答え： **妻（女性）のほうが長い**
6. 家庭科が男女ともに学ぶ教科に変わるきっかけとなった条約は何か。
答え： **女性差別撤廃条約**
7. 性別役割分業の考え方は、生まれつき決まっているものか、社会の中でつくられたものか。
答え： **社会の中でつくられたもの（生まれつきではない）**

1. 未婚女性・未婚男性（18～34歳）の理想のライフコースの調査は、何年から何年への変化を表しているか。
→ **1987年から2021年への変化を表している。**
2. このライフコース調査のグラフに出てくる主なコースを4つ答えなさい。
→ **両立コース・DINKS・専業主婦コース・再就職コース。**
3. ライフコース調査で、近年とくに割合が増えているのはどのコースか。
→ **仕事と家庭を両立する「両立コース」。**
4. 夫婦と子どもの世帯の生活時間のグラフで、家事関連時間が長いのは夫・妻のどちらか。
→ **妻（女性）のほうが長い傾向がある。**
5. 家事関連時間の男女差のグラフから、これからの生活で大切にしたいことは何か。
→ **性別にとらわれず、男女が協力して家事を分担すること（性別役割分業を見直すこと）。**

ミニクイズ

1. 「男は外で働き、女は内で働く」という考え方を何というか。
(1) 性別役割分業 (2) ウェルビーイング (3) ライフコース (4) 社会保障
答え：**性別役割分業** 性別によって仕事や役割を分ける考え方を性別役割分業という。生まれつき決まっているものではなく、社会の中でつくられた考え方である。
2. 「社会的・文化的につくられた性別」を表す言葉はどれか。
(1) ジェンダー (2) 遺伝 (3) DINKS (4) 里親
答え：**ジェンダー** ジェンダーは生物学的な性別（からだの性）とは別に、社会や文化がつくり出した役割や「らしさ」を指す。
3. 約30年前まで、家庭科は男女がともに学ぶ教科だった。
答え：**誤り** 約30年前までは女子だけが学ぶ教科だった。女性差別撤廃条約の批准を受け、今は男女がともに学ぶようになった。
4. 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を（ ）という。
答え：**ウェルビーイング（well-being）** ウェルビーイングは「よく在ること」という意味で、健康・満足・幸福を含む状態を指す。
5. 結婚・仕事・子育てをどう組み合わせるかという人生の道筋を（ ）という。
答え：**ライフコース** ライフコースは生き方の選択であり、両立コース・DINKS・専業主婦コース・再就職コースなどがある。
6. 結婚しても子どもをもたず、夫婦ともに働き続ける生き方をアルファベットで何というか。
(1) DINKS (2) OECD (3) GDP (4) CEDAW
答え：**DINKS** DINKSはDouble Income No Kidsの略で、共働きで子どもをもたない生き方を指す。
7. 一般に、夫婦と子どもの世帯では妻（女性）の家事関連時間のほうが夫より長い傾向がある。
答え：**正しい** 家事関連時間には男女差があり、妻のほうが長い傾向がある。これからは性別にとらわれず協力して分担することが大切である。

8. 未婚男女（18～34歳）の理想のライフコース調査で、近年とくに割合が増えているのはどれか。

（1）両立コース （2）専業主婦コース （3）DINKS （4）再就職コース

答え：両立コース 1987年→2021年の変化を見ると、仕事と家庭を両立する両立コースを理想とする割合が増えている。

9. ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）とは何か、生物学的な性別との違いがわかるように説明しなさい。

答え：ジェンダーとは、からだのつくりで決まる生物学的な性別とは別に、社会や文化がつくり出した性別の役割や「女らしさ・男らしさ」などのこと。生まれつき決まっているものではない。「からだの性」と「社会がつくった性の役割」を区別できているかがポイント。生まれつきではない点も重要。

10. これからの家庭生活で、家事や育児をどのように分担していくのがよいと考えられるか、性別役割分業の言葉を使って書きなさい。

答え：性別役割分業（男は外、女は内という考え方）にとらわれず、性別に関係なく家族みんなが協力して、おたがいのウェルビーイングを大切にしながら家事や育児を分担していくのがよい。性別役割分業を見直し、男女が協力して分担するという方向が書けていればよい。

考えてみよう

夫婦と子どもの世帯の生活時間のグラフを見て、①家事関連時間が多い／少ないのは夫・妻どちらか、②なぜそうなっていると考えられるか、③自分が大人になったらどのように分担したいかを話し合ってみよう。

「男らしさ」「女らしさ」と言われて思いうかぶことを出し合い、それは生まれつきのものか、それとも社会の中でつくられたジェンダーなのかを考えてみよう。

両立コース・DINKS・専業主婦コース・再就職コースのうち、自分が将来理想とするライフコースはどれか、その理由とともに考えてみよう（どれを選んでもよい）。

家族みんなのウェルビーイング（心も体も健康で幸せな状態）を高めるために、家庭の仕事をどのように協力して分担すればよいか、具体的なアイデアを出し合ってみよう。

3-5 家庭生活を支える社会（社会保障）

要点まとめ

- ・ 自分や家庭の力だけで生活が成り立たないとき、人と社会が支え合う仕組みがはたらく。これを社会全体で支える制度が社会保障である。
- ・ 生活の中で生じる困りごとには、病気・けが・失業・障がい・感染症・高齢・収入減などがあり、だれにでも起こりうる。
- ・ 困ったときは「しっかり手続きをしよう」が大切で、これらの困りごとを支えるのが社会保障制度である。
- ・ 社会保障の柱の一つが社会保険で、病気・けがには医療保険、失業には雇用保険、高齢には年金が対応する。

- 医療保険があると、病院に**医療費の一部負担**で受診でき、医療費が高額になったときは**高額療養費制度**で負担が軽くなる。
- 失業したときは**ハローワーク（公共職業安定所）**で職探しや雇用保険の給付を受けられる。
- 生活保護**は、憲法が保障する**健康で文化的な最低限度の生活**を守る制度で、生活費・住居費・教育費・医療費などを支援し、窓口は**福祉事務所**である。
- 社会保障の多くは**申請（手続き）しないと使えない（＝申請主義）**ので、困ったときは福祉事務所などの公共の窓口に分から相談することが重要である。

重要用語

社会保障（制度） しゃかいほしょう	病気・失業・高齢などで生活が苦しくなったとき、 社会全体で生活を支え合う 仕組み。個人や家庭だけで支えきれない困りごとに備える。
社会保険 しゃかいほけん	ふだんから 保険料 を出し合い、病気・失業・高齢などのときに給付を受ける仕組み。 医療保険・雇用保険・年金 などがある。
医療保険 いりょうほけん	病気やけがのとき、 医療費の一部負担 で病院を受診できるようにする社会保険。
高額療養費制度 こうがくりょうようひせいど	医療費の自己負担が 高額になったとき 、一定額を超えた分が払い戻され負担が軽くなる制度。
雇用保険 こようほけん	失業 したときに給付を受けたり、再就職の支援を受けたりできる社会保険。
ハローワーク	正式には 公共職業安定所 。 職探し や雇用保険の給付の手続きを行う公的な窓口。
年金 ねんきん	高齢 になったときなどに、定期的にお金を受け取れる社会保険の仕組み。
生活保護 せいかつほご	健康で文化的な最低限度の生活 を保障する制度。生活費・住居費・教育費・医療費などを支援する。
福祉事務所 ふくしじむしょ	生活保護 などの相談・申請を受け付ける公共の窓口。困ったときに相談する場所。
申請主義 しんせいしゅぎ	社会保障の制度は 自分で申請（手続き）しないと使えない ことが多いという考え方。困ったら自分から窓口相談する必要がある。
人と社会が支え合う ひととしゃかいがささえあう	自分や家庭の力だけで生活が成り立たないとき、 社会の仕組み が生活を支えるという、社会保障の基本の考え方。

一問一答

- 自分や家庭の力だけで生活が成り立たないとき、生活を支える社会全体の仕組みを何というか。

答え：**社会保障（制度）**

2. 生活の中で生じる、社会保障が支える困りごとを4つ以上あげよ。

答え：病気・けが・失業・障がい・感染症・高齢・収入減 など

3. ふだんから保険料を出し合い、病気・失業・高齢などのときに給付を受ける仕組みを何というか。

答え：社会保険

4. 病気やけがのとき、医療費の一部負担で病院を受診できる社会保険を何というか。

答え：医療保険

5. 医療費の自己負担が高額になったとき、一定額を超えた分の負担を軽くする制度を何というか。

答え：高額療養費制度

6. 失業したときに給付や再就職の支援を受けられる社会保険を何というか。

答え：雇用保険

7. 職探しや雇用保険の給付の手続きを行う公的な窓口を何というか（正式名称も）。

答え：ハローワーク（公共職業安定所）

8. 高齢になったときなどに定期的にお金を受け取れる社会保険の仕組みを何というか。

答え：年金

9. 健康で文化的な最低限度の生活を保障し、生活費・住居費・教育費・医療費などを支援する制度を何というか。

答え：生活保護

10. 生活保護の相談や申請を受け付ける公共の窓口を何というか。

答え：福祉事務所

1. 社会保障の制度は自分で申請（手続き）しないと使えないことが多い。この考え方を何というか。

答え：申請主義

2. 病気・けがのとき、失業のとき、高齢のとき、社会保険ではそれぞれどの制度が対応するか。

答え：病気・けが→医療保険、失業→雇用保険、高齢→年金

3. 生活保護が保障する生活水準を、漢字を使った決まり文句で答えよ。

答え：健康で文化的な最低限度の生活

4. 困ったときに社会保障を使うために、自分から行うべきことは何か。

答え：公共の窓口（福祉事務所など）に相談し、申請（手続き）をすること

5. 「困ったときはしっかり手続きをしよう」という呼びかけは、何を使うことをすすめているか。

答え：社会保障制度

ミニクイズ

1. 失業したときに利用する社会保険として正しいものはどれか。

（1）医療保険 （2）雇用保険 （3）年金 （4）生活保護

答え：雇用保険 失業に対応する社会保険は雇用保険。手続きや職探しはハローワーク（公共職業安定所）で行う。医療保険は病気・けが、年金は高齢に対応する。

2. 生活保護の相談・申請を受け付ける窓口はどれか。

(1) ハローワーク (2) 児童相談所 (3) 福祉事務所 (4) 保健所

答え：**福祉事務所** 生活保護の窓口は福祉事務所。ハローワークは職探し・雇用保険、児童相談所は子どもに関する相談の窓口で役割が異なる。

3. 高齢になったときに定期的にお金を受け取れる社会保険はどれか。

(1) 医療保険 (2) 雇用保険 (3) 年金 (4) 高額療養費

答え：**年金** 高齢に対応する社会保険は年金。医療保険は病気・けが、雇用保険は失業に対応する。

4. 社会保障の制度は、申請（手続き）をしなくても自動的に受けられるものがほとんどである。

答え：**誤り** 社会保障の多くは自分で申請しないと使えない（申請主義）。だからこそ困ったときは福祉事務所などの公共の窓口で自分から相談することが大切。

5. 医療費の自己負担が高額になったとき、負担を軽くする仕組みとして高額療養費制度がある。

答え：**正しい** 医療保険のもとで、自己負担が一定額を超えた分が払い戻される高額療養費制度がある。

6. 病気やけがのとき、医療費の一部負担で受診できる社会保険を（ ）という。

答え：**医療保険** 病気・けがに対応する社会保険が医療保険。医療費の一部を負担するだけで受診できる。

7. 生活保護は、憲法が保障する「健康で（ ）な最低限度の生活」を守る制度である。

答え：**文化的** 「健康で文化的な最低限度の生活」が決まり文句。生活費・住居費・教育費・医療費などを支援する。

8. 職探しや雇用保険の手続きを行う公的な窓口を、正式には（ ）という。

答え：**公共職業安定所（ハローワーク）** ハローワークの正式名称は公共職業安定所。失業時の職探しや雇用保険の給付の窓口になる。

9. 社会保障の制度を実際に使うために、困ったときに自分でしなければならないことを、「申請主義」という言葉を使って説明しなさい。

答え：**社会保障の多くは申請（手続き）しないと使えない（申請主義）ため、困ったときは福祉事務所などの公共の窓口で自分から相談し、申請の手続きをする必要がある、という内容。** 申請主義のポイントは「自動では受けられない」「自分から窓口で相談・申請する」の2点。これを押さえて書いていけば正解。

10. 社会保険のうち「医療保険」「雇用保険」「年金」が、それぞれどんな困りごとに対応するかを説明しなさい。

答え：**医療保険は病気・けが、雇用保険は失業、年金は高齢に対応する、という内容。** 3つの社会保険を、対応する困りごと（病気・けが／失業／高齢）と正しく結びつけられているかがポイント。

考えてみよう

身近な大人や自分の生活の中で、社会保障（医療保険・年金・雇用保険・生活保護など）がどんな場面で役立っているか具体例をあげて話し合ってみよう。

社会保障の多くが「申請主義」（自分で手続きしないと使えない）であることには、どんな良い点と困る点があるだろうか。だれもが必要なときに制度を使えるようにするには、どんな工夫があるとよいか考えてみよう。

Aさんが「けが・病気」「失業」「収入減」で困っているとき、それぞれの制度・どの窓口（医療保険／雇用保険・ハローワーク／生活保護・福祉事務所など）を使えばよいか、グループで整理してみよう。

家族・家庭と私の成長 総合模擬試験 第1回（基礎）（100点）

1. [4点] 人間の発達段階を、生まれてから順に正しく並べたものはどれですか。

(1) 乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人 (2) 幼児 → 乳児 → 小学生 → 中学生 → 成人 → 高校生 (3) 乳児 → 小学生 → 幼児 → 中学生 → 高校生 → 成人 (4) 幼児 → 乳児 → 中学生 → 小学生 → 高校生 → 成人

解答：乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人 発達段階は「乳児→幼児→小学生→中学生→高校生→成人」の順に進む。人間は生まれてから死ぬまで、家族や地域など多くの人々とかかわりながら成長・発達していく。

2. [4点] 「自立」とは、何でも自分一人のできることを意味する。

(☐ ・ ☒)

解答：× (誤り) 自立とは「何でも自分でできること」ではなく、必要なときにほかの人々に助けを求められることをいう。

3. [4点] ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ちを () という。

解答：自己肯定感 自己肯定感は「自分には自分らしいところがある」と思える気持ち。日本の若者は国際的に見て自己肯定感が低い傾向がある。

4. [4点] 自分の長所・短所、好きなこと・苦手なこと、何に興味があるかなどを自分で知ることが何をいうか答えなさい。

解答：自己理解 自己理解とは、自分のことを自分で理解すること。自分の特徴や興味を知ること、自分らしく生きることにつながる。

5. [3点] 中学生の時期について、教材の説明として正しいものはどれですか。

(1) 子どもから青年期へ移行する時期である (2) 幼児期から乳児期へもどる時期である (3) もう成長が完全に終わる時期である (4) 成人を過ぎて高齢になる時期である

解答：子どもから青年期へ移行する時期である 中学生は子どもから青年期へ移行する時期。自分の頭で考えられるようになり、物事に疑問を感じるようになるのは大人へ成長していく証である。

6. [4点] 人は一人ひとり、生まれもった (①) も、育つ (②) も違う中で成長する。①②に入る語を答えなさい。

解答：①遺伝 ②環境 世の中に同じ人は一人もいない。遺伝も環境も一人ひとり違う中で育つため、自分らしさを大事にすることが大切。

7. [3点] 成長の道筋には個人差があり、ゆっくり成長する人もいる。

(☐ ・ ☒)

解答：○ (正しい) 成長の道筋には個人差があり、ゆっくりな人もいる。自分らしさを大事にして、世界に一人しかいない自分を見失わないように生きることが大切。

8. [3点] 家庭の機能（はたらき）に当てはまらないものはどれですか。

(1) 利益を上げて株主に配当すること (2) 食べる・着る・住まうこと (3) 子育てや介護をして育てること (4) 地域・社会とのかかわりをもつこと

解答：利益を上げて株主に配当すること 家庭の機能は①食べる②着る③住まう④育てる（子育て・介護）⑤地域・社会とのかかわり。家庭は心の安らぎや健康を支える場でもある。利益を上げて配当するのは家庭の機能ではない。

9. [4点] 「食べる」にかかわる家庭の仕事を、教材の例から2つ書きなさい。

解答：食事の調理、買い物（ほかに「献立を考える」「後片付け」も可） 「食べる」にかかわる家庭の仕事の例は、食事の調理・買い物・献立を考える・後片付けなど。これらは家族の生活を支える大切な仕事である。

10. [4点] 家庭で行ってきた仕事を、製造業・サービス産業・公的福祉などの家庭の外が担うようになることを、家事の（ ① ）・（ ② ）という。

解答：①外部化 ②社会化 家事の外部化・社会化が進むことで便利になる一方、手作りの良さや家族の時間など失われるものもある。

1. [3点] 調理済み食品や惣菜、冷凍食品などを買って家で食べることを指す言葉を、漢字2字で答えなさい。

解答：中食（なかしょく） 中食は加工技術の進歩で手ごろな価格で手に入るようになり、調理の時短につながる。家事の外部化・社会化の一例。

2. [3点] 家事の外部化・社会化やAI化の例として、最も適切なものはどれですか。

（1）ロボット掃除機の利用 （2）家族全員で手作りの料理をすること （3）子どもが自分で部屋を片づけること （4）家族で旅行の計画を立てること

解答：ロボット掃除機の利用 ロボット掃除機はAI化の例。ほかに保育・介護などの公的福祉、外食店、クリーニング業などのサービス産業も外部化・社会化の例である。

3. [3点] 中学生の生活にかかる費用として、教材で示されている例はどれですか。

（1）学費・被服費・食費・教養娯楽費 （2）法人税・固定資産税 （3）退職金・年金保険料 （4）住宅ローン・自動車保険料

解答：学費・被服費・食費・教養娯楽費 中学生の生活には学費・被服費・食費・教養娯楽費などさまざまな費用がかかる。費用の構成は円グラフで示される。

4. [3点] 子育てを支える社会の仕組みで、子どもを育てる家庭に支給される手当を（ ）という。

解答：児童手当 児童手当は2024年10月から拡充され、高校生年代まで支給されるようになった。子育てを支える社会の仕組みの一つ。

5. [3点] 保育・幼児教育の無償化は、2019年10月から始まった。

（ ○ ・ × ）

解答：○（正しい） 保育・幼児教育の無償化は2019年10月から始まった。ほかに医療費の無償化・助成（自治体による）、出産育児一時金などもある。

6. [3点] 夫婦と子どもや、ひとり親と子どもなど、祖父母を含まない家族の形を指す言葉を答えなさい。

解答：核家族 近年は祖父母・親・子が同居する三世帯家族などから核家族化が進んだ。「ふつうの家族」は決まっておらず、家族のあり方は多様である。

7. [3点] 祖父母・親・子の三つの世代がいっしょに暮らす家族を何といいますか。

（1）三世帯家族 （2）単独世帯 （3）DINKS （4）二世帯家族

解答：三世帯家族 祖父母・親・子の三世代が暮らすのが三世帯家族。家族構成には二世帯家族、夫婦と子ども、ひとり親と子ども、夫婦のみ、単独世帯などさまざまな形がある。

8. [3点] 中学生になると親と異なる考えで反発することがあるが、それは自立のための大事な時期である。

(○ ・ ×)

解答：○ (正しい) 中学生は「自分のことは自分で考えたい」と思うようになる。親と異なる考えで反発することもあるが、それは自立のための大事な時期である。

9. [4点] 本来は大人が担うような家事や家族の世話（介護・看病・きょうだいの世話など）を、日常的に行っている子どもを（ ）という。

解答：ヤングケアラー ヤングケアラーは本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子ども。家族だけで解決できないときは相談窓口相談してよい。

10. [3点] 事情があって親と暮らせない子どもを、家庭に迎えて育てる人・制度を何というか答えなさい。

解答：里親 里親は事情により親と暮らせない子どもを家庭に迎えて育てる制度。里親とは別に、法律上の親子関係を結ぶ「養子縁組」という制度もある。家族関係は弟妹の誕生・親の死・結婚・離婚・災害などで変化する。

11. [3点] 子どもの相談窓口である「児童相談所」の全国共通ダイヤルの番号はどれですか。

(1) 189 (2) 119 (3) 110 (4) 117

解答：189 児童相談所の全国共通ダイヤルは189（いちはやく）。各自治体に設置されている。家族だけで解決できない問題は相談窓口相談してよい。

12. [3点] 18歳までの子どものための電話・チャット相談で、名前を言わなくてよい相談窓口はどれですか。

(1) チャイルドライン (2) ハローワーク (3) 福祉事務所 (4) 保育所

解答：チャイルドライン チャイルドラインは18歳までの子どものための電話・チャット相談（0120-99-7777）で、名前を言わなくてよい。

13. [3点] 「男は外で働く、女は内で働く」といった考え方を（ ）という。

解答：性別役割分業 性別役割分業は「男は外で働く、女は内で働く」という考え方。約30年前まで家庭科は女子だけが学ぶ教科だったが、今は男女がともに学ぶ。

14. [4点] 生物学的な性別とは別に、社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）を表す言葉を答えなさい。

解答：ジェンダー ジェンダーは社会的・文化的につくられた性別のこと。固定的にとらえられてきたが、男女がともに学び支え合う考え方が広がっている。

15. [3点] 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を、英語に由来する言葉で（ ）という。

解答：ウェルビーイング (well-being) ウェルビーイングは心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態。これからの家庭生活や社会で大切にされる考え方である。

16. [3点] 近年、未婚の女性が理想とする割合が増えている、仕事と家庭の両方を続けるライフコースはどれですか。

(1) 両立コース (2) 専業主婦コース (3) DINKS (4) 再就職コース

解答：両立コース 理想のライフコースには両立コース・DINKS・専業主婦コース・再就職コースなどがある。近年は仕事と家庭を両立する両立コースを理想とする割合が増えている。



!7. [3点] 病気・失業・高齢などの困りごとを、社会全体で支え合う仕組みを何とといいますか。

(1) 社会保障制度 (2) 性別役割分業 (3) 家事の外部化 (4) 自己理解

解答： **社会保障制度** 社会保障制度は、病気・失業・障がい・けが・高齢・収入減などの困りごとを社会の仕組みで支える。社会保険や生活保護などがある。

!8. [4点] Aさんが仕事を失って収入がなくなり、新しい仕事を探したいと考えています。Aさんが利用できる社会保険と、職探しや給付の窓口の名前をそれぞれ答えなさい。

解答： **社会保険＝雇用保険／窓口＝ハローワーク** 失業に対しては雇用保険があり、ハローワークで職探しや給付を受けられる。社会保険には病気・けがの医療保険、高齢の年金などもある。

!9. [3点] 健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、生活費・住居費・教育費・医療費などを支えるものを何というか答えなさい。

解答： **生活保護** 生活保護は健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度。窓口は福祉事務所。困ったときは公共の窓口に相談する。

!0. [3点] 社会保障の制度は、こちらから申請（手続き）しなくても自動的に使えるものが多い。

(○ ・ ×)

解答： **×（誤り）** 社会保障の制度は申請（手続き）しないと使えないことが多い（申請主義）。困ったときは福祉事務所などの公共の窓口に相談することが大切。

模擬試験 第2回「家族・家庭と私の成長」（標準＋応用：理解・関連づけ・図表/事例）（100点）

1. [2点] 人間の発達段階を年齢の若い順に正しく並べたものはどれか。

(1) 乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人 (2) 幼児 → 乳児 → 小学生 → 中学生 → 成人 → 高校生 (3) 乳児 → 小学生 → 幼児 → 中学生 → 高校生 → 成人 (4) 幼児 → 乳児 → 中学生 → 小学生 → 高校生 → 成人

解答：乳児 → 幼児 → 小学生 → 中学生 → 高校生 → 成人 人間は乳児→幼児→小学生→中学生→高校生→成人の順に成長・発達していく。各段階で家族や地域など多くの人々とかかわりながら育つ。

2. [2点] 「自立」の説明として、教材の考え方に最も近いものはどれか。

(1) 何でも一人で、人に頼らずできるようになること (2) 必要なときに、ほかの人々に助けを求められること (3) 家を出て一人暮らしを始めること (4) 経済的に自分で稼げるようになること

解答：必要なときに、ほかの人々に助けを求められること 自立とは「何でも自分でできること」ではなく、必要なときに周りの人々に助けを求められること。中学生は子どもから青年期へ移行し、自立に向かう大事な時期である。

3. [2点] ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ち（「自分には自分らしいところがある」と思えること）を何というか。

解答：自己肯定感 自己肯定感とは、ありのままの自分を肯定的に受け止める気持ち。日本の若者は国際的に見て自己肯定感が低い傾向があるとされる。

4. [3点] 人は一人ひとり（ ① ）も（ ② ）も違う中で育つため、世の中に同じ人は一人もいない。空欄①②に入る語を答えなさい（順不同）。

解答：①遺伝 ②環境 遺伝も環境も一人ひとり異なる。自分が周りのどこに似てどこが違うかを知り、自分らしさを大事にして生きることが大切。

5. [3点] 図表「自己肯定感の国際比較」では、『自分には自分らしいところがあると思うか』に「とてもそう思う」と答えた高校生の割合の概数が、日本約25%、米国約47%、中国約43%、韓国約30%であった。この結果から日本の若者についてどのようなことが読み取れるか、簡潔に書きなさい。

解答：日本は他国（米国・中国・韓国）に比べて「とてもそう思う」と答える割合が低く、国際的に見て自己肯定感が低い傾向がある。 4か国の中で日本の割合が最も低い。この調査結果は、日本の若者が国際的に見て自己肯定感が低い傾向にあることを示している（数値は教科書掲載の概数）。

6. [1点] 成長の道筋には個人差があり、ほかの人よりゆっくり成長する人もいる。

（ ○ ・ × ）

解答：○（正しい） 成長の道筋には個人差があり、ゆっくりな人もいる。物事に疑問を感じられるようになるのは大人へ成長していく証である。

7. [3点] 「自己理解（自分のことを自分で理解する）」とは、具体的にどのようなことを知ることか。例を2つ挙げて説明しなさい。

解答：自分の長所・短所、好きなこと・苦手なこと、何に興味があるかなどを知ること（例：長所と短所／好きなことと苦手なこと など）。 自己理解とは、自分の長所・短所、好きなこと・苦手なこと、興味のあることなどを自分で知ること。これが自分らしく生きることにつながる。



8. [2点] 家庭の機能（はたらき）に当てはまらないものはどれか。

(1) 食べる・着る・住まう (2) 育てる（子育て・介護） (3) 地域・社会とのかかわり (4) 利益を上げて株主に配当する

解答：利益を上げて株主に配当する 家庭の機能は①食べる②着る③住まう④育てる（子育て・介護）⑤地域・社会とのかかわり。家庭は心の安らぎや健康を支える場でもある。利益や配当は企業の機能で家庭の機能ではない。

9. [4点] 次の家庭の仕事の例を、家庭の機能のどれに当てはまるか分類しなさい。ア:洗濯 イ:献立を考える ウ:掃除 エ:育児・看護 オ:衣服の補修

解答：ア=着る、イ=食べる、ウ=住まう、エ=育てる（育児・介護）、オ=着る 着る=洗濯・衣服の管理や補修、食べる=献立・調理・買い物、住まう=掃除・住まいの手入れ、育てる=育児・看護・介護。家庭の仕事は機能ごとに整理できる。

10. [3点] 家庭で行ってきた仕事を、製造業・サービス産業・公的福祉など家庭の外が担うようになることを何というか。

解答：家事の外部化（社会化） 家事の外部化・社会化のこと。中食やクリーニング業、保育・介護などの公的福祉、外食店などが家庭の仕事を担うようになっている。

1. [3点] 加工技術の進歩により、調理済み食品・惣菜・冷凍食品などが手ごろな価格で手に入るようになった。このような調理済み食品を家に持ち帰って食べる形態を（ ）という。

解答：中食（なかしょく） 中食は調理済み食品・惣菜・冷凍食品などを指す。家事の外部化の例であり、調理の時短につながる一方、手作りの良さなど失われるものもある。

2. [4点] 家事の外部化（弁当・惣菜・冷凍食品の利用など）が進むことの「良い点」と「気になる点（失われるもの）」を、それぞれ1つずつ書きなさい。

解答：良い点：調理の時間が短縮できる・手軽で便利。気になる点：手作りの良さや家族で過ごす時間などが失われることがある。 便利になる一方で、手作りの良さや家族の時間などが失われる面もある。両面を考えて利用することが大切。

3. [2点] 家庭の仕事を支える「AI化」の例として最も適切なものはどれか。

(1) ロボット掃除機 (2) 手洗いでの洗濯 (3) 家族での話し合い (4) 近所づきあい

解答：ロボット掃除機 ロボット掃除機はAI化（技術による家事の代替・効率化）の例。家事の外部化・社会化とともにAI化も進んでいる。

4. [3点] 子育てを支える社会の仕組みについて、開始・拡充の時期の組み合わせとして正しいものはどれか。

(1) 保育・幼児教育の無償化=2019年10月～／児童手当の拡充=2024年10月～ (2) 保育・幼児教育の無償化=2024年10月～／児童手当の拡充=2019年10月～ (3) 保育・幼児教育の無償化=2007年～／児童手当の拡充=2021年～ (4) 両方とも2019年10月から同時に始まった

解答：保育・幼児教育の無償化=2019年10月～／児童手当の拡充=2024年10月～ 保育・幼児教育の無償化は2019年10月から、児童手当の拡充（高校生年代まで支給など）は2024年10月からとされている。

5. [3点] 図表「保育・幼児教育への公的支援の国際比較（対GDP比、OECD資料）」では、日本は他の先進国と比べてどのような傾向にあるか。簡潔に書きなさい。

解答：日本は他の先進国より公的支援の割合（対GDP比）が低めの傾向にある。 OECD資料による国際比較では、保育・幼児教育への公的支援の対GDP比は日本が他の先進国より低めの傾向を示している。

6. [3点] 祖父母・親・子のように、複数の世代が同居していた家族から、夫婦と子どもや夫婦のみなど世代が少ない家族へと近年進んだ変化を何というか。

解答：核家族化 三世帯家族などから核家族（夫婦と子ども、夫婦のみ、ひとり親と子どもなど）へ進む変化を核家族化という。

7. [2点] 様々な暮らし方があり、「ふつうの家族」という決まった形が存在する。

(○ ・ ×)

解答：× (誤り) 家族には二世帯・三世帯・夫婦と子ども・ひとり親と子ども・夫婦のみ・単独世帯など様々な形があり、「ふつうの家族」は決まっていない。

8. [5点] 図表「小学生と中学生の休日の過ごし方」では、「友だちと過ごす」割合が小学生約49%、中学生約59%であった。この変化から、中学生の家族・友人関係についてどのようなことが読み取れるか、自立の観点を含めて書きなさい。

解答：中学生は小学生より「友だちと過ごす」割合が高く、家族と過ごす割合が下がる。親から離れて自分のことは自分で考えたいと思うようになる自立の時期にあたることが読み取れる。中学生は友だち（ヨコの関係）と過ごす割合が小学生より増える。これは親に頼ってきたのが自分で考えたいと思うようになる自立の時期と関係しており、反発も自立のための大事な時期といえる。

9. [4点] 人間関係には、家族・親などの「(①)」の関係と、友だちなどの「(②)」の関係がある。①②に入る語を答えなさい。

解答：①タテ ②ヨコ 家族・親など世代の異なる「タテ」の関係と、友だちなど同世代の「ヨコ」の関係がある。いろいろなつながり方の中で人は成長する。

10. [3点] 本来大人が担うような家事や家族の世話（介護・看病・きょうだいの世話など）を、日常的に行っている子どものことを何というか。

解答：ヤングケアラー ヤングケアラーは、大人が担うような家事や家族のケアを日常的に行う子ども。経験者からは「すごいね」より「つらいよね」と受け止めてほしかったという声がある。

11. [3点] 「里親」の説明として正しいものはどれか。

(1) 事情により親と暮らせない子どもを、家庭に迎えて育てる人・制度 (2) 子どもを保育所で日中だけ預かる職員 (3) 学校で勉強を教える教員 (4) 高齢者を介護する施設の職員

解答：事情により親と暮らせない子どもを、家庭に迎えて育てる人・制度 里親は、事情により親と暮らせない子どもを家庭に迎えて育てる人・制度。里親とは別に、法律上の親子関係を結ぶ「養子縁組」という制度もある。

12. [4点] 子どもの相談窓口について、児童相談所の全国共通ダイヤルは「(①) (いちはやく)」である。また、18歳までの子どものための電話・チャット相談で、名前を言わなくてよいのは「(②)」である。①②に入る語句を答えなさい。

解答：①189 ②チャイルドライン 児童相談所の全国共通ダイヤルは189 (いちはやく)。チャイルドラインは18歳までの子どもの電話・チャット相談 (0120-99-7777) で、名前を言わなくてよい。

13. [4点] 家族だけでは解決できない困りごとがあるとき、中学生はどうすればよいか。教材の考え方をふまえて書きなさい。

解答：友だちや地域の相談窓口、行政の窓口（児童相談所・チャイルドラインなど）に相談してよい。一人や家族だけで抱え込まなくてよい。家族だけで解決できない問題は、友だち・地域の相談窓口・行政の窓口に相談してよい。大切な他者に頼ることも自立の一つである。



!4. [3点] 「男は外で働く、女は内で働く」のように、性別によって役割を固定的に分ける考え方を何というか。

解答： **性別役割分業** 性別役割分業は、性別によって役割を固定的に分ける考え方。家事関連時間の男女差などにも表れる。

!5. [3点] 「ジェンダー」の説明として最も適切なものはどれか。

(1) 生まれつきの生物学的な性別そのもの (2) 社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」） (3) 戸籍に登録された性別 (4) 身長や体重などの身体的特徴

解答： **社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）** ジェンダーは、生物学的な性別とは別に、社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）。固定的にとらえられてきた歴史がある。

!6. [3点] 約30年前まで男女別だった家庭科が、男女ともに学ぶようになった背景の一つに、ある条約の批准がある。この条約を（ ）という。

解答： **女性差別撤廃条約** 女性差別撤廃条約の批准などを受け、かつて女子だけが学んだ家庭科を今は男女がともに学ぶようになった。

!7. [3点] 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を表す語をカタカナで答えなさい。

解答： **ウェルビーイング (well-being)** ウェルビーイングは、心身ともに健康で満たされ幸せに暮らす状態。性別役割にとらわれず、互いに支え合う生活がウェルビーイングにつながる。

!8. [4点] 図表「未婚女性・男性（18～34歳）の理想のライフコースの変化（1987年→2021年）」では、近年「両立コース」を理想とする割合が増加している。「両立コース」とはどのような生き方が説明しなさい。

解答： **結婚・出産後も仕事を辞めずに、仕事と家庭（家事・育児など）を両立させていく生き方。** 両立コースは仕事と家庭を両立させる生き方。ほかに専業主婦コース・再就職コース・DINKSなどがあり、近年は両立コースを理想とする割合が増えている。

!9. [5点] 社会保障制度のうち、病気・けが・失業・高齢などに備えてあらかじめ加入しておく仕組みを（ ① ）という。そのうち、失業したときに職探しや給付を受けられる保険を（ ② ）といい、職探しの窓口を（ ③ ）という。①～③に入る語句を答えなさい。

解答： **①社会保険 ②雇用保険 ③ハローワーク** 社会保険には医療保険（病気・けが）・雇用保険（失業）・年金（高齢）などがある。失業時はハローワークで職探しや給付を受けられる。

!10. [3点] 「生活保護」について正しい説明はどれか。

(1) 健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、窓口は福祉事務所である (2) 高齢になったら全員に自動的に支給される年金である (3) 失業したときにハローワークで受け取る給付である (4) 病院で医療費の一部を負担すれば受診できる保険である

解答： **健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、窓口は福祉事務所である** 生活保護は、健康で文化的な最低限度の生活を保障する制度で、生活費・住居費・教育費・医療費などを対象とし、窓口は福祉事務所である。

!11. [3点] 社会保障の制度は、自分で申請（手続き）しないと使えないことが多い。このような仕組みの考え方を何というか。

解答： **申請主義** 社会保障の多くは申請主義で、手続きをしないと使えないことが多い。困ったときは福祉事務所などの公共の窓口相談することが大切。



12. [5点] Aさんが次の困りごとを抱えたとき、それぞれの社会保障の仕組みを使えばよいか答えなさい。①仕事を失って収入がなくなった ②病気で入院し医療費がかかる ③高齢で働けなくなった

解答：①雇用保険（ハローワーク）／生活が成り立たなければ生活保護 ②医療保険（高額療養費制度など）

③年金 失業は雇用保険、病気・けがは医療保険（高額な場合は高額療養費制度）、高齢は年金で支える。生活が成り立たないときは生活保護（福祉事務所）に相談する。

家族・家庭と私の成長 総合模擬試験 第3回（応用・総合）（100点）

1. [4点] 「自立」について、家庭科の教科書の考え方として最も適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 何でも一人で完璧にできるようになること (2) 必要なときに、ほかの人々に助けを求められること (3) 家族と関わらず一人で生活すること (4) 親の言うことに反発しないこと

解答：必要なときに、ほかの人々に助けを求められること 自立は「何でも自分でできること」ではなく、必要なときに他者へ助けを求められることを指す（第1章）。一人で抱え込まないことが自立の本質。

2. [4点] 次のうち「家事の外部化・社会化」の例として最も適切でないものを1つ選びなさい。

- (1) 惣菜や冷凍食品（中食）を買って利用する (2) ロボット掃除機を使って掃除する (3) クリーニング店に衣服の洗濯を頼む (4) 家族で献立を話し合って自宅で調理する

解答：家族で献立を話し合って自宅で調理する 家事の外部化・社会化は、家庭で行ってきた仕事を家庭の外（製造業・サービス産業・公的福祉）が担うこと。自宅での調理は家庭内で完結するため外部化の例ではない（第2章）。

3. [4点] 児童相談所の全国共通ダイヤルの番号として正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 110 (2) 119 (3) 189 (4) 177

解答：189 児童相談所の全国共通ダイヤルは189（いちはやく）。子どもに関する相談・通告の窓口（第3章）。

4. [4点] 「両立コース」「DINKS」「専業主婦コース」「再就職コース」は何を分類したものか、最も適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 家族構成の種類 (2) 社会保障制度の種類 (3) 理想とする生き方（ライフコース）の種類 (4) 家庭の機能の種類

解答：理想とする生き方（ライフコース）の種類 これらは女性・男性が理想とするライフコース（生き方）の分類。近年は仕事と家庭を両立する両立コースを理想とする割合が増えている（第3章 3-4）。

5. [4点] 失業して仕事を探すときに利用する公的な窓口と、関連する社会保険の組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 福祉事務所 — 生活保護 (2) ハローワーク — 雇用保険 (3) 児童相談所 — 児童手当 (4) 病院 — 年金

解答：ハローワーク — 雇用保険 失業時はハローワークで職探し・給付を受け、関連する社会保険は雇用保険。福祉事務所は生活保護の窓口（第3章 3-5）。

6. [3点] 核家族化とは、三世帯家族（祖父母・親・子）が増えていくことをいう。正しければ○、誤りなら×で答えなさい。

(○ ・ ×)

解答：× 逆である。近年は三世帯家族から核家族（夫婦のみ、夫婦と子、ひとり親と子など）へと進む核家族化が起きた（第3章 3-1）。

7. [2点] ジェンダーとは、生まれもった生物学的な性別そのものを指す言葉である。正しければ○、誤りなら×で答えなさい。

(○ ・ ×)

解答：× ジェンダーは生物学的性別とは別に、社会的・文化的につくられた性別（役割や「らしさ」）を指す（第3章 3-4）。

8. [2点] 社会保障の制度の多くは、自分で申請（手続き）しなくても自動的に支援を受けられる仕組みになっている。正しければ○、誤りなら×で答えなさい。

(○ ・ ×)

解答：× 社会保障の多くは申請（手続き）しないと使えない（申請主義）。困ったときは福祉事務所などの窓口相談することが大切（第3章 3-5）。

9. [2点] 約30年前まで、中学校では技術・家庭が男女別で、高校の家庭科は女子だけが学ぶ教科だった。正しければ○、誤りなら×で答えなさい。

(○ ・ ×)

解答：○ 女性差別撤廃条約の批准などを受けて男女がともに学ぶようになった。それ以前は家庭科は女子中心の教科だった（第3章 3-4）。

10. [2点] 加工技術の進歩により、調理済み食品・惣菜・冷凍食品など、手ごろな価格で手に入る食品を（ ）という。

解答：中食（なかしょく） 中食は外食と内食（家庭での手作り）の中間。調理の時短につながる一方、手作りの良さが失われる面もある（第2章 2-2）。

1. [2点] ありのままの自分を好意的に受け止め、肯定的に感じる気持ちを（ ）という。日本の若者はこれが国際的に見て低い傾向がある。

解答：自己肯定感 自己肯定感とは「自分には自分らしいところがある」と思える気持ち。日本の若者は他国より低い傾向がある（第1章 1-2）。

2. [2点] 医療費が高額になったとき、自己負担の上限を超えた分が払い戻される、医療保険の制度（ ）制度という。

解答：高額療養費 高額療養費制度は医療保険の仕組みの一つ。重い病気・けがで医療費が高額になっても負担を抑えられる（第3章 3-5）。

3. [2点] 事情により親と暮らせない子どもを、自分の家庭に迎えて育てる人・制度を（ ）という。

解答：里親 里親は親と暮らせない子どもを家庭に迎えて育てる制度。養子縁組も家族のあり方の一つ（第3章 3-3）。

4. [3点] 本来大人が担うような家事や家族の世話（介護・看病・きょうだいの世話など）を、日常的に行っている子どものことを何というか、用語を答えなさい。

解答：ヤングケアラー ヤングケアラーは家庭内のケアを担い、学習や友人関係に影響が出ることがある。周囲の理解と相談窓口・支援が重要（第3章 3-2・3-3）。

5. [3点] 「男は外で働く、女は内で働く」のように、性別によって役割を固定的に分ける考え方を何というか、用語を答えなさい。

解答：性別役割分業 性別役割分業は社会的・文化的につくられた役割（ジェンダー）に基づく固定観念。今は男女がともに家庭・社会を支える方向へ変化している（第3章 3-4）。

6. [3点] 心身ともに健康で、満たされ、幸せに暮らす状態を表す言葉をカタカナで答えなさい。

解答：ウェルビーイング ウェルビーイング（well-being）は家庭生活や働き方を考えるうえで重視される考え方（第3章 3-4）。

7. [3点] 病気・失業・高齢などのとき、社会保険によって生活を支える仕組み全体を指す言葉を答えなさい（生活保護なども含む社会全体の仕組み）。

解答：社会保障（社会保障制度） 社会保障は社会保険（医療保険・雇用保険・年金など）や生活保護からなり、自分や家庭の力だけで生活が成り立たないときに支える（第3章 3-5）。

8. [4点] 家庭の機能（はたらき）には5つの面がある。そのうち3つを書きなさい。

解答：①食べる ②着る ③住まう ④育てる（子育て・介護） ⑤地域・社会とのかかわり のうち3つ 家庭は食・衣・住・育（子育てや介護）・地域社会とのかかわりを担い、心の安らぎや健康を支える場でもある（第2章 2-1）。

9. [4点] 中学生が親と異なる考えをもって反発することがあるが、教科書ではこれをどのような時期だと説明しているか、簡潔に書きなさい。

解答：自分のことは自分で考えたいと思うようになる、自立のための大事な時期。 反発は単なるわがままではなく、子どもから青年期へ移行し自立していく成長の過程として大切な時期とされる（第1章・第3章 3-2）。

10. [4点] 家事の外部化・社会化が進むと便利になる一方で、失われるおそれのあるものを2つ書きなさい。

解答：手作りの良さ、家族で過ごす時間（など） 中食やサービスの利用で時短になる反面、手作りの良さや家族の時間など、家庭ならではの価値が失われる面もある（第2章 2-2）。

11. [4点] 子育てを支える社会の仕組みのうち、2019年10月から始まった制度と、2024年10月から拡充された制度を、それぞれ1つずつ書きなさい。

解答：2019年10月～：保育・幼児教育の無償化／2024年10月～：児童手当（高校生年代まで支給などの拡充） 保育・幼児教育の無償化は2019年10月開始、児童手当は2024年10月から高校生年代まで支給するなど拡充された（第2章 2-3）。

12. [4点] 家族・親などとの「タテ」の関係に対して、友だちなどとの関係を何の関係というか答え、中学生になると休日の過ごし方でどのような変化が見られるか簡潔に書きなさい。

解答：ヨコの関係。中学生は小学生より「友だちと過ごす」割合が高くなる傾向。 タテ（家族）とヨコ（友だち）の両方のつながりがある。図表では中学生は友だちと過ごす割合が小学生より高い傾向（概数で約59%）（第3章 3-2）。

13. [5点] Aさんは仕事中に大きなけがをして入院し、医療費が高額になった。その後、職場を辞めることになり収入もなくなった。【問】(1)入院の医療費負担を軽くするために利用できる社会保険と、その中の制度名を答えなさい。(2)仕事を探すために利用する窓口を答えなさい。

解答：(1)医療保険／高額療養費制度 (2)ハローワーク 病気・けがは医療保険（高額療養費制度で負担を抑える）、失業はハローワークで職探し・雇用保険の給付を受ける。困ったときは制度と窓口を正しく結びつけることが大切（第3章 3-5）。

14. [5点] 図表「自分には自分らしいところがあると思うか（高校生・とてもそう思う）」の概数は、日本 約25%／米国 約47%／中国 約43%／韓国 約30%であった。【問】(1)この図表から読み取れる、日本の若者の特徴を1文で書きなさい。(2)その特徴が表す気持ち・概念を表す家庭科の用語を答えなさい。

解答：(1)日本は他国より「とてもそう思う」と答える割合が低い。(2)自己肯定感 日本は4か国の中で最も低く、自己肯定感が国際的に見て低い傾向を示す。数値は教科書掲載の概数として扱う（第1章 1-3）。

15. [6点] 図表「夫婦と子どもの世帯における夫・妻の生活時間」では、家事関連時間に男女差があり、妻の方が長い傾向が示されている。【問】(1)このような男女差を生んできた、性別で役割を固定する考え方を何というか答えなさい。(2)この差を小さくするために、これからの家庭でどうすればよいか、あなたの考えを1～2文で書きなさい。

解答：(1)性別役割分業 (2)（例）性別にとらわれず、夫婦・家族が家事や育児を分担し合う。互いの仕事や状況を話し合って協力する。など 家事関連時間の男女差の背景には性別役割分業の考え方がある。ジェンダーにとらわれず分担し、互いに協力する姿勢が、ウェルビーイングの高い家庭につながる（第3章 3-4）。

- !6. [6点] 友人のBさんは、若年性認知症になった母親の介護やきょうだいの世話を毎日していて、宿題や部活の時間がとれず疲れている。【問】(1)Bさんのように家族の世話を日常的に担う子どもを何というか答えなさい。(2)あなたがBさんにかかる言葉として、本人の気持ちに寄り添うにはどうするのがよいか、教科書で紹介された経験者の声をふまえて書きなさい。(3)Bさんが相談できる窓口を1つ挙げなさい。

解答：(1)ヤングケアラー (2)「すごいね」とほめるより、「つらいよね」と気持ちを受け止める。(3)児童相談所 (189) / チャイルドライン など 経験者の高岡さんは「すごいね」より「つらいよね」と受け止めてほしかったと語る。一人で抱え込まず、児童相談所 (189) やチャイルドライン (0120-99-7777) などに相談してよい (第3章 3-2・3-3)。

- !7. [3点] 第1章で学ぶ「自分らしさ」に関連して、人は一人ひとり違う中で育つ。その違いを生む要因を2つ、家庭科の用語で答えなさい。

解答：**遺伝、環境** 遺伝も環境も一人ひとり違う。だからこそ自分らしさを大事にし、世界に一人しかいない自分を見失わないことが大切 (第1章 1-3)。

- !8. [6点] この単元全体 (第1章～第3章) をふまえ、「人は家族や社会と支え合いながら成長していく」ことについて、次の3つの語を必ず使って自分の考えを3～4文で書きなさい。【使う語：自立・家事の外部化 (または家庭の機能)・社会保障】

解答：(例) 人は乳児から成人まで家族や地域の人々と関わって成長し、家庭の機能や家事は外部化・社会化によって社会にも支えられている。自立とは一人で全部やることではなく、必要なときに人や社会の仕組みに助けを求められること。困ったときは社会保障などの制度や窓口を使い、支え合って生きることが大切だ。(3語を使い筋が通っていれば可) 3章の横断問題。発達と関わり (1章)、家庭の機能・家事の外部化 (2章)、家族の多様性・社会保障による支え合い (3章) を結びつけ、自立＝適切に助けを求めること、という単元の核を表現できていれば高評価 (第1～3章 総合)。